佐倉市立佐倉南図書館所蔵

大型絵本
ブックガイド

大型絵本は、佐倉市在住･在勤･在学のいずれかの方で、

佐倉市立図書館の貸出カードをお持ちの方に貸出しています。

佐倉市立佐倉南図書館

令和２年６月

＜大型絵本のご利用について＞

◆ 大型絵本は、佐倉市在住・在勤・在学のいずれかの方で、佐倉市立図書館の貸出カードをお持ちの方に貸出しています。

◆ 佐倉南図書館所蔵の大型絵本は、佐倉南図書館カウンターでの貸出・返却のみとなります。佐倉南図書館以外の図書館での貸出や返却は受け付けておりません。ブックポストへの返却も受け付けておりません。
（大型絵本は、志津図書館、北志津児童センター図書室でも所蔵しています。）

◆ 大型絵本の予約については、図書館カウンターでのみの受付となります。図書館内のＯＰＡＣやインターネット（パソコン・携帯電話）からの予約は受け付けておりません。

◆ 大型絵本の貸出期間については、１回まで延長できます。貸出期間内にカウンターまたは電話でお申し出下さい（パスワードの発行をうけている方は、図書館内のＯＰＡＣやインターネットで貸出期間の延長ができます）。ただし、予約が入っている本の延長はできません。

◆ 図書館内のＯＰＡＣやインターネット（パソコン・携帯電話）で、貸出状況（今借りている資料）の確認等を行うことができます。手続きには、パスワードが必要となります。事前に図書館で、パスワードの発行をうけてください。詳細につきましては、図書館にお問い合わせください。

◆ 貸出カードを作るときやパスワードの発行をうけるときは、現住所と氏名が確認できるもの（運転免許証、健康保険証、学生証など）を図書館にお持ちください。

◆ １枚の貸出カードで、１０冊まで１５日間の貸出を受けられます。

＜大型絵本を読むときに＞

大型絵本は、大人数の聞き手へ読み聞かせをするのに向いた、大きなサイズの絵本です。お話会プログラムのアクセントとして取り入れると、効果的です。絵本の楽しさ面白さを伝える一つの手段として、使ってみてください。

大型絵本だけでプログラムを組むのはおすすめしません。通常サイズの絵本を主として、それに大型絵本を加えるとメリハリがつきます。

参加人数が少なかったり会場が狭い場合など、通常サイズの絵本をお使いいただいた方がよい場合もあります。

◆ 事前に、必ず読む練習をしましょう。読み手の目から本文が遠くなるため読みにくかったり、頁のめくりや押さえに慣れが必要だったりします。頁のめくりや押さえに、もう１人補助がついた方がよい場合もあります。補助とよく打ち合わせて、タイミングが合うようにしましょう。

◆ 読み手と頁のめくり手が分かれる場合は、読み手は絵本のそばで読む方がうまくいきます。めくり手とタイミングが合うように、よく練習しましょう。

◆ 大型絵本用の専用スタンドがない場合は、絵本をのせて動かないようにする机などの台を用意しましょう。読んでいる時に絵本が揺れると、見ていて気が散ります。また、本自体に重さがあるので倒れたりすると危ないです。

◆ 台にのせた絵本の高さが、聞き手から見やすいかどうか事前に確認しましょう。高すぎる位置だと、見ている方に負担がかかります。低すぎる位置の場合、前列の聞き手に隠れてしまうなどして画面全体を見ることができません。

◆ 紙質に光沢がある絵本の場合は、会場の照明が反射して画面が見にくくなる場合があります。聞き手の位置から確認して、照明が映りこまないようにしましょう。

◆ 大型絵本といっても、聞き手の位置によってはよく見えない場合もでてきます。見えにくい場所がないか事前に確認し、聞き手の位置に留意しましょう。

目次

大型絵本のご利用について・・・・・・・・・・・・・１

大型絵本を読むときに・・・・・・・・・・・・・・・２

目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

季節・テーマ別リスト・・・・・・・・・・・・・・・８

作品別内容紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

＊題名のあいうえお順です。
＊題名の前に★印がついているものは、新着本です。

【あ行】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

あかまるちゃんとくろまるちゃん　１１
★あぶくたった　１１
あめのひのえんそく　１１
ありとすいか　１２
いただきバス　１２
いもほりバス　１２
うさぎのくれたバレエシューズ　１３
うみの１００かいだてのいえ　１３
おおきなかぶ　１３
おおきなきがほしい　１４
おおはくちょうのそら　１４
★おしくら・まんじゅう　１５
おじさんのかさ　１５
おっぱい　１５
おとうさん・パパ・おとうちゃん　１６
おばけのてんぷら　１６
おばけのバーバパパ　１６
おばけパーティ　１７
★おふとんかけたら　１７
★おべんとうばこのうた　１７

おべんとうバス　１７
おまえうまそうだな　１８
おめんです　１８
おめんです２　１８
おやおや、おやさい　１９
【か行】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
かばくん　１９
からすのパンやさん　１９
かわいそうなぞう　２０
ガンピーさんのふなあそび　２０
きたきつねのゆめ　２０
キャベツくん　２１
給食番長　２１
きょだいなきょだいな　２１
きんぎょがにげた　２２
くじらだ！　２２
くだものいろいろかくれんぼ　２２
くまのコールテンくん　２３
くものすおやぶんとりものちょう　２３
ぐりとぐら　２４
ぐりとぐらのえんそく　２４
ぐりとぐらのおきゃくさま　２４
ぐるんぱのようちえん　２５
月ようびはなにたべる？　２５
こすずめのぼうけん　２５
ころころころ　２６
【さ行】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
サンドイッチサンドイッチ　２６
三びきのこぶた　２６
三びきのやぎのがらがらどん　２７
じしんだ！　２７
しまふくろうのみずうみ　２７
しゅっぱつしんこう！　２８
しりとりのだいすきなおうさま　２８
新ウォーリーをさがせ！　２８

新ウォーリーハリウッドへいく　２９
スイミー　２９
すてきな三にんぐみ　２９
ぜったいにおしちゃダメ？　３０
せんたくかあちゃん　３０
せんろはつづく　３０
★せんろはつづくまだつづく　３１
ぞうくんのさんぽ　３１
そらの１００かいだてのいえ　３１
そらまめくんのベッド　３１

【た行】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２

だいおういかのいかたろう　３２
だじゃれ日本一周　３２
たなばたバス　３２
たまごにいちゃん　３３
たまごのあかちゃん　３３
だるまさんが　３３
だるまさんと　３４
だるまさんの　３４
だるまちゃんとかみなりちゃん　３４
だるまちゃんとてんぐちゃん　３５
ダンゴムシみつけたよ　３５
ちいさなきいろいかさ　３５
ちいさなくれよん　３６
ちいちゃんのかげおくり　３６
ちか１００かいだてのいえ　３６
ちからたろう　３７
ちびゴリラのちびちび　３７
でんしゃでいこうでんしゃでかえろう　３８
でんしゃにのって　３８
ドアがあいて・・・　３９
どうぞのいす　３９
どうぶついろいろかくれんぼ　３９
どうぶつしんちょうそくてい　４０
となりのたぬき　４０
とべバッタ　４０

ともだちや　４１
ドライブにいこう　４１

【な行】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１

なつのいちにち　４１
なにをたべてきたの？　４２
にじいろのさかな　４２
にゃーご　４２
にんじんとごぼうとだいこん　４３
ねずみくんのチョッキ　４３
ねずみのいもほり　４３
ねずみのかいすいよく　４４
ねずみのさかなつり　４４
ねずみのでんしゃ　４４
★ノラネコぐんだんきしゃぽっぽ　４５
ノラネコぐんだんパンこうじょう　４５
のりものいろいろかくれんぼ　４５

【は行】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６

はじめてのおつかい　４６
はじめてのおるすばん　４６
バスでおでかけ　４６
はっぱのおうち　４７
花さき山　４７
パパ、お月さまとって！　４７
バムとケロのおかいもの　４８
バムとケロのさむいあさ　４８
バムとケロのそらのたび　４８
バムとケロのにちようび　４９
バムとケロのもりのこや　４９
はらぺこあおむし　５０
１００かいだてのいえ　５０
ぴょーん　５１
ふしぎなカサやさん　５１
ふしぎなタネやさん　５１
フレデリック　５１
へびくんのおさんぽ　５２

へんしんオバケ　５２
へんしんトンネル　５２
ぼくにげちゃうよ　５３
ぼくのくれよん　５３

【ま行】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３

まどから★おくりもの　５３
めっきらもっきらどおんどん　５４
もぐらバス　５４
もこもこもこ　５５
モチモチの木　５５
ももたろう　５５
もりのおふろ　５６
もりのかくれんぼう　５６

【や・ら・わ行】・・・・・・・・・・・・・・・・・５７

よかったねネッドくん　５７
よくばりすぎたねこ　５７
わゴムはどのくらいのびるかしら？　５７
わにわにのおふろ　５８

【英語版大型絵本】・・・・・・・・・・・・・・・・５８

ＢＲＯＷＮ　ＢＥＡＲ，ＢＲＯＷＮ　ＢＥＡＲ，
ＷＨＡＴ　ＤＯ　ＹＯＵ　ＳＥＥ？　５８
（「くまさんくまさん　なにみてるの？」）
ＦＲＯＭ　ＨＥＡＤ　ＴＯ　ＴＯＥ　５９
（「できるかな　あたまからつまさきまで」）
THE CHILDREN‘S GIANT　WORLD ATLAS　５９
（「でっかいこどもせかいちず」）
ＴＨＥ ＧＩＡＮＴ ＢＯＯＫ ＯＦ ＳＰＡＣＥ　６０
（「でっかいうちゅうのほん」）
ＴＨＥ　ＬＩＴＴＬＥ　ＲＥＤ　ＨＥＮ　６０
（「おとなしいめんどり」）
ＴＨＥ　ＴＨＲＥＥ　ＢＩＬＬＹ　ＧＯＡＴＳ　ＧＲＵＦＦ　６１
（「やぎのブッキラボー３きょうだい」）
ＴＨＥ　ＶＥＲＹ　ＨＵＮＧＲＹ　ＣＡＴＥＲＰＩＬＬＥＲ　６１
（「はらぺこあおむし」）

さくいん＜画家名別＞・・・・・・・・・・・・・・・６２

さくいん＜作者名別＞・・・・・・・・・・・・・・・６７

季節・テーマ別リスト

―春―

うさぎのくれたバレエシューズ
おおはくちょうのそら
くものすおやぶんとりものちょう
こすずめのぼうけん
でんしゃでいこうでんしゃでかえろう
はらぺこあおむし
もぐらバス

―入園・入学―

ぐるんぱのようちえん
ねずみのでんしゃ

―夏―

ありとすいか
ガンピーさんのふなあそび
せんたくかあちゃん
ぞうくんのさんぽ
そらまめくんのベッド
たなばたバス
なつのいちにち
にゃーご
ねずみのかいすいよく
めっきらもっきらどおんどん

―父の日―

おとうさん・パパ・おとうちゃん

―梅雨―

おじさんのかさ
ちいさなきいろいかさ
はっぱのおうち

―秋―

あめのひのえんそく
いもほりバス
どうぞのいす
ねずみのいもほり
パパ、お月さまとって！
もりのかくれんぼう

―冬―

あぶくたった
きたきつねのゆめ
そらの１００かいだてのいえ
だいおういかのいかたろう
ねずみのさかなつり
バムとケロのさむいあさ
モチモチの木

―クリスマス―

ぐりとぐらのおきゃくさま
バスでおでかけ
まどから★おくりもの

―いきもの―

おおはくちょうのそら
きたきつねのゆめ
しまふくろうのみずうみ
ダンゴムシみつけたよ

―おばけ―

おばけのてんぷら
おばけのバーバパパ
おばけパーティ
へんしんオバケ
めっきらもっきらどおんどん

―昔話―

おおきなかぶ（ロシアの昔話）
三びきのこぶた
（イギリスの昔話）
三びきのやぎのがらがらどん
（ノルウェーの昔話）
ちからたろう（日本の昔話）
にんじんとごぼうとだいこん
（日本の昔話）
ももたろう（日本の昔話）

―食べ物―

ありとすいか
おばけのてんぷら
おばけパーティ
おべんとうばこのうた
おべんとうバス
からすのパンやさん
ぐりとぐら
ぐりとぐらのおきゃくさま
月ようびはなにたべる？
サンドイッチサンドイッチ
しりとりのだいすきなおうさま
どうぞのいす
なにをたべてきたの？
にゃーご
ノラネコぐんだんきしゃぽっぽ
ノラネコぐんだんパンこうじょう
はらぺこあおむし
もぐらバス

ーのりものー

しゅっぱつしんこう！
せんろはつづく
せんろはつづくまだつづく
でんしゃでいこうでんしゃでかえろう
でんしゃにのって
バスでおでかけ

ー戦争ー

かわいそうなぞう
ちいちゃんのかげおくり

ー防災ー

じしんだ！

＜作品別内容紹介＞

○あかまるちゃんとくろまるちゃん○

（大きな大きな絵本）　　対象：幼児
上野　与志／作　村松　カツ／絵　チャイルド本社　５０×５０ｃｍ
　まるのきょうだい、あかまるちゃんとくろまるちゃんは、変身ごっこで遊ぶことにしました。さくらんぼにおたまじゃくし、梅干し弁当に三色だんご、ちょうちょにてんとう虫と、次々に変身していきます。あらあら、それぞれ変身した消防自動車と機関車で、どっかーんとぶつかってしまいました。でも大丈夫、他のみんなが迎えに来て、水玉模様のエプロンの中に帰りましたよ。楽しい穴あき絵本。

★○あぶくたった○

（うたってあそぼう！大きな絵本）　対象：幼児
さいとう　しのぶ／構成・絵　チャイルド本社　５０ｃｍ
　あぶくたった、にえたった。にえたかどうだか、たべてみよー。あずきを煮ているねずみのかあさんが、おいしくなあれとうたっています。すると、こねずみ、とうさんねずみがつぎつぎとやってきて、みんなうたっておどりながら、少しずつあずきを味見して・・・・。わらべうた「あぶくたった」の大きな絵本。

○あめのひのえんそく○

（大きな大きな絵本）　　対象：幼児～小低
間瀬　なおかた／作・絵　チャイルド本社　５０×５０ｃｍ
　今日は楽しみにしていた遠足なのに、雨が降っています。これから大きなバスに乗って、ぶどう山へぶどう狩りにいくのです。町を通って山に向かいます。トンネルを抜けると、紅葉のきれいなもみじ山。またトンネルを抜けると、稲穂が黄色いたんぼ。再びトンネルを抜けると、緑の鮮やかな牧場。またトンネルを抜けると、美しい桔梗の野原。もう一度トンネルを抜けると青い海。最後にトンネルを抜けると、ぶどうがたっぷり実ったぶどう山。雨はもう止みそうです。着いた時には、雨はすっかり上がって、空には大きな虹がかかっていました。おいしいぶどうを沢山とって、おなか一杯食べました。お土産にぶどうをもって帰りますよ。トンネル部分が穴あきになっている楽しい絵本です。

○ありとすいか○

（ポプラ社のよみきかせ大型絵本）
たむら　しげる／作・絵　ポプラ社　４９ｃｍ　　対象：幼児～小低
　夏の午後、ありがすいかを見つけてやってきました。でも、大きすぎて巣に持って帰ることができません。巣にいる仲間を呼んで運ぼうとしますが、やはり無理。そこで、シャベルを使って小分けにし、次から次へと運ぶことにしました。そのうちに、巣の中はすいかでいっぱいに。残ったすいかはみんなで食べて、おなかいっぱいになりました。最後に残った皮で、ありたちはウォーターシュートをして遊びました。

○いただきバス○

（大きな絵本）　　対象：幼児
藤本　ともひこ／作・絵　鈴木出版　３６×５０ｃｍ
　朝、ねずみたちがバス停で待っていると、バスがやってきました。今日はりんごを食べにいきます。バスは走りだし、野越え山越え町から町へ、とうとう崖の上で止まりました。みんなが困っていると、バスが自分をくすぐるようにいいます。バスの内側からこちょこちょこちょ。思いっきりくすぐると、バスはびろーんとのびて向こうの崖に届きました。みんながくすぐり続けると、バスはぐるぐる輪になり、ほどけて跳ねて、りんごの木の上にどすん！赤いりんごを「いただきバース！」みんなでりんごを食べました。

○いもほりバス○

（大きな絵本）　　対象：幼児
藤本　ともひこ／作・絵　鈴木出版　３６×５０ｃｍ
　朝、ねずみたちがバス停で待っていると、バスがやってきました。今日はみんなでおいも掘りに行くのです。でこぼこ道ではバスがぴょんぴょん跳ねて、いも畑に到着！小さいおいもばかりでがっかりしていると、大きなはっぱを見つけました。掘ってみますが、スコップでは掘り出せません。バスのおしりをつんつんすると、お鼻がのびて大きなドリルになりました。ドリルをぎゅるぎゅる回して、バスは大きなおいもを掘り出します。最後にみんなが引っ張ると、おいもはすっぽーんと抜けて、火山の中に飛び込みました。こんがり焼けて火山から飛び出したおいもを、みんなでおいしく食べましたよ。残りは、バスに積んでお土産です。

○うさぎのくれたバレエシューズ○

（よみきかせ大型絵本）　　対象：幼児～小低
安房　直子／作　南塚　直子／絵　小峰書店　５０ｃｍ
　バレエ教室に通って５年もたつのに、女の子はちっとも踊りが上手になりません。踊りがうまくなるよう、女の子はいつも願っていました。するとある朝、女の子のところにバレエシューズの入った小包が届いたのです。送り主のやまのくつやは、大きな満開の桜の木のうろにあって、うさぎがせっせと仕事をしていました。うさぎバレエ団のために、３０足のバレエシューズを作るのです。ようやく出来上がったシューズを、バレエ団のうさぎたちが受け取りに来ました。シューズをはいたうさぎたちと女の子は、夢中で踊ります。ふと気がつくと、女の子は一人取り残され、くつやも見当たりません。家に帰った女の子は、いつの間にか踊りがうまくなっていました。

○うみの１００かいだてのいえ○

（ビッグブック）　　対象：幼児～小低
いわい　としお／作　偕成社　１１６×２１ｃｍ
　海に浮かぶ船の上です。カモメにえさをあげようとした女の子の手から、人形のテンちゃんが海の中へ落ちてしまいました。沈んでいく途中、テンちゃんの身につけていたものは全部どこかにいってしまい、テンちゃんはふしぎなあわの中へ。あわの下にはラッコさんが住んでいました。この家は１００階あって、１０階ごとに違う生きものが住んでいるようです。次の階にはイルカさん、その次にはヒトデさん、それからタコさん、タツノオトシゴさん、ウツボさん、クラゲさん、カニさん、チョウチンアンコウさん、ヤドカリさんが住んでいました。１００階には、とても大きなヤドカリさんが住んでいましたよ。どの階の生きものも、テンちゃんがなくしたものを喜んで使っていて、代わりに別のものをくれました。沢山の海の生きものたちに送られて、テンちゃんはポーンと船の上へ。もらったものを身につけたテンちゃんを見て、女の子は「とってもすてき！」って言いました。

○おおきなかぶ○

（こどものとも劇場）　　対象：幼児
Ａ．トルストイ／再話　内田　莉莎子／訳　佐藤　忠良／絵
福音館書店　３６×５０ｃｍ
　おじいさんがかぶを植えると、とてつもなく大きなかぶができました。おじい

さんはかぶを抜こうとしますが、抜けません。おばあさんも一緒に引っ張りますが、やはり抜けません。孫娘も加わりましたが、抜けません。犬、猫と次々に手伝いますが、どうにも抜けません。最後に、猫が呼んできたねずみも加わって、大きなかぶは、ようやく抜けましたって。

○おおきなきがほしい○

（ビッグブック）　　対象：幼児～小中
佐藤　さとる／文　村上　勉／絵　偕成社　５１ｃｍ
　かおるは、大きな木があるといいなあと思いました。とても太い木ではしごをかけて登ります。途中の木の幹にはほら穴が空いていて、中にかけたはしごで登っていくと小さなかわいい小屋に入れるのです。ホットケーキを焼いたり、妹を連れてきたりもできるでしょう。木をもっと登っていくと、りすの家や鳥たちの家もあります。はしごを登りきったところには見晴らし台があって、遠くまで見渡せます。夏の小屋はきっと涼しく、秋は色づいた葉が舞いこんできたり、かけすがやってきたりするかもしれません。冬は、ストーブをつけたほうがいいかも。春、木にはどんな花が咲くでしょうか。かおるは大きな木の絵を描いて、帰ってきたお父さんに見せました。次の日曜日、かおるとお父さんはとても大きくなる木を植えましたよ。

○おおはくちょうのそら○

（リブリオ出版のビッグブック）　　対象：小低～一般
手島　圭三郎／作・絵　リブリオ出版　４４ｃｍ
　雪山を望む北海道の湖に、まもなく春が訪れようとしています。冬の間、ここで過ごしてきた沢山のおおはくちょうは、生まれ故郷の北の国を目指して飛び立っていきました。
　仲間の去った湖に、６羽の家族が取り残されています。１羽のこどもが病気で、飛び立つことができないのです。親たちは、こどもの病気が治るのを待つことにしました。
　湖の周りは、みるみるうちに春らしくなってきました。ところが、こどもはいよいよ弱っていきます。ある晩お父さんは、ついに北の国へ帰らなければならないのを悟りました。次の朝、家族は病気のこどもを囲んで鳴き交わし、とうとう空へ飛び立っていきました。山のかげに見えなくなっていった家族を慕って、病気のこどもはかなしい声で鳴いています。すると、山の上に羽ばたく白いかげが現れました。家族が戻ってきたのです。安心したこどもは、その夜息を引き取りました。

翌日、北の国に向かって飛び立った家族は、夜に日をついで飛び続け、ようやく目的の地に着きました。一緒に来られなかったこどもを想う家族の目に、空いっぱいに輝く死んだこどもの姿がうつります。北の雪原に、家族の鳴く声が響きました。

★○おしくら・まんじゅう○

（かがくいひろしの大型絵本）　対象：幼児（０～５才）
かがくい　ひろし／さく　ブロンズ新社　３９×４８ｃｍ
いたずらな紅白まんじゅうたちが、他のおまんじゅうやこんにゃく、なっとうなどの友だちをおしくらまんじゅう。おされたみんなや、紅白まんじゅうはどうなってしまうのでしょうか？

○おじさんのかさ○

（講談社の創作絵本　大型絵本）　　対象：幼児～小中
佐野　洋子／作・絵　講談社　５３ｃｍ
おじさんは、とても立派な傘を持っていました。出かけるときは、いつも傘を持っていきます。雨が降っても、傘はさしません。傘が濡れてしまうからです。雨が降ったら、雨宿りしたり、人の傘に入れてもらったりしていました。あまり雨風がひどい時は、出かけたりしません。傘が壊れてしまうかもしれませんからね。ある日、雨が降り出してきて、小さな男の子が、傘に入れてくれるようおじさんに頼みました。おじさんは知らんぷり。男の子は友だちの女の子の傘に入れてもらい、帰っていきました。その楽しそうな様子につられて、おじさんはとうとう傘を開いてみたのです。傘に雨があたる音は、とてもすてき。傘をさすのは、なんて楽しいのでしょう。家に帰ったおじさんは、幸せな気持ちでした。

○おっぱい○

（大きな絵本）　　対象：幼児
みやにし　たつや／作・絵　鈴木出版　４４ｃｍ
ぞうさん、ねずみさん、ごりらさん、ぶたさん。みんな、おっぱいを飲んで大きくなるんだよ。ついこの間まで、ぼくもお母さんのおっぱいを飲んで、大きく、優しく、強く、元気な子にしてもらったんだ。ぼくは、お母さんのおっぱいが大好き。今は、、、弟にすこーし貸してあげてるけどね。

○おとうさん・パパ・おとうちゃん○

（大きな絵本）　　対象：幼児
みやにし　たつや／作・絵　鈴木出版　４４ｃｍ
　子どもからの呼び方は「おとうさん」だったり「パパ」、「おとうちゃん」や「とうちゃん」、それから「とうさん」だったりするけど、仕事中は「現場監督」だったり「先生」、「板さん」や「八百屋さん」、「運転手さん」や「チャンピオン」って呼ばれてる、色々な仕事をしているお父さんたち。子どもたちの大好きなお父さんが、大勢出てきます。

○おばけのてんぷら○

（ポプラ社のよみきかせ大型絵本）　　対象：幼児～小低
せな　けいこ／作・絵　ポプラ社　５０ｃｍ
　うさこは、食べることが大好き。こねこくんのお弁当に入っていた天ぷらを味見して、自分も天ぷらを作ることにしました。出来たての天ぷらのおいしいこと。うっかり、かけていた眼鏡を天ぷらのころもに入れてしまったのにも気づかず、揚げ物に夢中になっています。いい匂いにつられて、山のおばけもやってきました。おばけったら、こっそり天ぷらをつまみ食いしているうちに、ころもの中へぽちゃーん。あやうく、おばけの天ぷらになるところを逃げ出していきました。最後にうさこが揚げたのは、自分の眼鏡でしたって。

○おばけのバーババパパ○

（ビッグブック）　　対象：幼児
アネット・チゾン／作　タラス・テイラー／作　やました　はるお／訳
偕成社　４３×４９ｃｍ
　バーババパパは、フランソワの家の庭で生まれました。ところが、あんまり体が大きいので、動物園で暮らすことになりました。体の形を思い通りに変えられることに気づいたバーババパパは、動物たちと仲良くなろうと色々な形になってみますが、うまくいきません。とうとう動物園を追い出されてしまいました。でも、バーババパパは火事にあった人たちを助けたり、動物園から逃げ出したひょうを捕まえたりして、町の人気者になります。バーババパパは、フランソワの家の庭に家を作ってもらって、そこで暮らすことになりましたよ。

○おばけパーティ○

（ほるぷ出版の大きな絵本）　　対象：幼児～小低
ジャック・デュケノワ／作・絵　おおさわ　あきら／訳　ほるぷ出版
３３×４３ｃｍ
　おばけのアンリが、友だちみんなを晩餐会に招待しました。すてきな色のカクテルにかぼちゃのスープ、サーモンやサラダ、それからチーズ。おばけたちはおいしいものを食べる度に、その食べ物の色に染まったり、その形になったりします。今夜の特別メニューを食べると、あんまりおいしくって、体がとろけるように消えてしまいました。そのまま、みんなで後片付けをすませて、食後のコーヒーで一服。みんなの体はコーヒー色になって、また見えるようになりました。最後に飲んだあつあつミルクで、体の色は元通りの真っ白に。みんなは楽しく帰っていきました。

★○おふとんかけたら○

（かがくいひろしの大型絵本）　対象：幼児（０～５才）
かがくい　ひろし／さく　ブロンズ新社　３９ｃｍ
　たこさん、ソフトクリームさん、トイレットペーパーさん、まめさん・・・。
　みんなみんな、おふとんかけたら、どんな寝相になるのかな？

★○おべんとうばこのうた○

（うたってあそぼう！大きな絵本）　対象：幼児
さいとう　しのぶ／構成・絵　チャイルド本社　５０ｃｍ
　おべんとうばこにやってきた、おにぎり。きざみしょうがと、ごましおをふります。こんどは、にんじんさん、さくらんぼさん、しいたけさんがとうじょう。つぎは、だれがおべんとうばこに、はいるのでしょうか？おべんとうをたべるじかんがまちどおしくなる、「おべんとうばこのうた」のおおきなえほん。

○おべんとうバス○

（大きな大きな絵本）　　対象：幼児
真珠　まりこ／作・絵　チャイルド本社　５０ｃｍ
　赤いバスに、ハンバーグくんが乗りました。それから、えびフライちゃんにたまごやきさん、ブロッコリーくんとトマトちゃん、おにぎりさんたちが乗りまし

た。みんな、揃ったかな？みかんちゃんが遅れてやってきて乗りこむと、さあ出発。おでかけ、楽しいね。もうすぐ、みんなでおべんとうをいただきます！２歳くらいから楽しめます。

○おまえうまそうだな○

（ポプラ社のよみきかせ大型絵本）　　対象：幼児～小低
宮西　達也／作・絵　ポプラ社　４７ｃｍ
　恐竜の赤ちゃんが、ひとりぼっちでさみしくて泣いていると、「おまえうまそうだな」と声がして・・・。
　お父さんにまちがえられた大きな恐竜と、あかちゃんの愛情の物語。

○おめんです○

（ビッグブック）　　対象：幼児
いしかわ　こうじ／作・絵　偕成社　４３ｃｍ×４３ｃｍ
　こわーい鬼のお面をかぶっているのは誰かな。お面をとったら牛さんでした。おたふくのお面をかぶっていたのは、ぶたさんです。だるまのお面をかぶっていたのは、ごりらさん。緑色の河童のお面は、かえるさんがかぶっていました。ひょっとこのお面をかぶっていたのは、たこさんです。きつねのお面は、たぬきさんがかぶっていました。さあ、いろんなお面があります。どのお面、かぶってみたい？　お面の頁を開くと、かぶっていたどうぶつの顔があらわれるしかけ絵本です。２歳くらいから楽しめます。

○おめんです２　○

（ビッグブック）　　対象：幼児
いしかわ　こうじ／作・絵　偕成社　４３ｃｍ×４３ｃｍ
　こわーいおおかみのお面をかぶっているのは誰かな。お面をとったらひつじさんでした。太陽のお面をかぶっていたのは、ライオンさんです。ピエロのお面をかぶっていたのは、パンダさん。孫悟空のお面は、黒ねこさんがかぶっていました。かぼちゃのお面をかぶっていたのは、おばけちゃんです。舞踏会の仮面は、ふくろうさんがかぶっていました。さあ、いろんなお面があります。どのお面、かぶってみたい？　お面の頁を開くと、かぶっていたどうぶつの顔があらわれるしかけ絵本です。２歳くらいから楽しめます。

○おやおや、おやさい○

（こどものとも年少版劇場）　　対象：幼児
石津　ちひろ／文　山村　浩二／絵　福音館書店　４２ｃｍ
　今日は野菜たちのマラソン大会です。そらまめににんにく、パセリにラディッシュ、それからセロリやかぼちゃも走っています。向こうから自転車に乗ってきたきゅうりは急に止まれず、ぶつかりそうになったかぼちゃが川に落ちました。釣りをしていたさつまいもも手伝って、かぼちゃを助けます。えのきはのんきに歩いていきました。給水所で紙コップをとったトマトの弟は、あわててお兄さんを追いかけます。沿道からの拍手に気をとられている白菜を、とうがらしが抜かして一番になりました。とうもろこしにも抜かされた白菜は、銅メダルをもらいました。

○かばくん○

（こどものとも劇場）　　対象：幼児
岸田　衿子／作　中谷　千代子／絵　福音館書店　３６×５０ｃｍ
　動物園に朝が来ました。男の子が亀の子を連れてやってきました。かばくんがようやく目を覚まして、男の子や亀の子と挨拶しています。日曜日なので、子どもたちがどんどんやってきます。かばくんは、キャベツやとうもろこしをもらって食べました。おなかがいっぱいになったかばくんとかばの子が休んでいます。やがて、動物園は夜になりました。

○からすのパンやさん○

（ビッグブック）　　対象：幼児～小低
かこ　さとし／作・絵　偕成社　５１ｃｍ
　いずみが森にあるからすのパンやさんに、４羽のかわいい赤ちゃんが生まれました。お父さんやお母さんは、赤ちゃんの世話が大変で、ちゃんとパンを作ったり売ったりできません。だんだん、お店は流行らなくなりました。ところがある日、子どもたちがおやつのパンを友だちに分けて喜ばれたことから、家族でパンを作り始めると、どんどん売れるようになりました。今では、家族が考え出した沢山のおいしいパンがお店に置いてあります。大勢のからすがお客にやってきて、パンやさんは、評判の立派なお店になりました。

○かわいそうなぞう○

（読みきかせ大型絵本）　　対象：小低～一般
つちや　ゆきお／文　たけべ　もといちろう／絵　金の星社　５０ｃｍ
　戦争中の上野動物園では、爆撃を受けた時に猛獣や大型動物が逃げて被害を出さないように、動物たちを薬殺していきました。しかし、敏感な象たちは、毒入りの食べ物を決して口にしようとしませんでした。厚い皮のために、注射器を使うこともできません。食べ物を与えずにおくと、１７日後に１匹目が死にました。残りの２匹はげっそりとやせ細りながら、かぼそい声で餌をねだります。いよいよやせ衰えた象たちは、近寄ってきた飼育係を見ると、２匹でなんとか支えあって立ち上がり、仕込まれた芸をしてみせました。たまらず、飼育係は餌を与えますが、それも空しく、２匹は相次いで餓死していきました。３匹の象は、今も園内にあるお墓の下で眠っています。深い感銘を残す戦争絵本。

○ガンピーさんのふなあそび○

（ほるぷ出版の大きな絵本）　　対象：幼児～小低
ジョン・バーニンガム／作・絵　みつよし　なつや／訳　ほるぷ出版
３８×３８ｃｍ
　川の近くに住んでいるガンピーさんは、舟を一艘持っています。ある日、舟に乗って出かけることにしました。すると、子どもたちやうさぎ、猫、犬、ぶた、ひつじ、にわとり、牛、やぎが次々に「乗せて」と頼んできました。ガンピーさんはおとなしく舟に乗ることを約束に、みんなを乗せてあげます。ところが、舟の中はだんだん騒がしくなり、とうとう舟はひっくり返って、みんな川の中に落ちてしまいました。岸に泳ぎ着いたみんなは、お日さまにあたって体を乾かし、ガンピーさんの家へ行って、お茶をごちそうになりましたって。

○きたきつねのゆめ○

（リブリオ出版のビッグブック）　　対象：小低～一般
手島　圭三郎／作・絵　リブリオ出版　４４ｃｍ
　北海道の山の、静かで寒い冬の森です。冷たい月の光が、森の中を歩いていくきたきつねを明るく照らしています。雪の上の足跡をたどって見つけたゆきうさぎは、丘の上で見失ってしまいました。そのかわり、きたきつねが目にしたのは、木が凍りついて月の光に輝く不思議な森のようすでした。森は鹿や鳥、きたきつねの親子の姿を浮かびあがらせます。その光景は、きたきつねに、楽しかった子どものころを思い出させるのでした。やがて、あたりは段々と明るくなり、きた

きつねは森のはずれに立っていることに気がつきました。朝を迎えて白く輝く彼方の雪原に、１匹のきたきつねがいるようです。きたきつねは、なかまのところへ駆けつけました。春には、かわいい赤ちゃんが生まれることでしょう。

○キャベツくん○

（みるみる大型絵本）　　対象：幼児～小低
長　新太／文・絵　文研出版　４４ｃｍ
　キャベツくんが、道でおなかをすかせたブタヤマさんに会いました。キャベツくんを食べようとするブタヤマさんに、「ぼくを食べるとキャベツになるよ」とキャベツくんが言いました。空には、鼻がキャベツになったブタヤマさんが浮かんでいます。びっくりしたブタヤマさんが、「ヘビが君を食べると？」と聞くと、空にはキャベツのお団子みたいなヘビが！　タヌキにゴリラ、カエルにライオン、ゾウ。ブタヤマさんが聞く度に、体の一部がキャベツになった動物が空に浮かびます。ノミは、小さすぎて見えませんでした。クジラは、巨大なキャベツのクジラです。はらぺこのブタヤマさんをかわいそうに思ったキャベツくんは、レストランでご馳走してあげることにしましたって。

○給食番長○

（ビッグブック）　　対象：小学生
よしなが　こうたく／作　長崎出版　５２ｃｍ
　わんぱく小学校の給食の時間です。１年２組では、番長を中心に好きなおかずを取り合ったり嫌いなものを残したり、給食をちゃんと食べたことがありません。注意しても全く聞こうとしない１年２組にがっかりして、給食室のおばちゃんたちは家出してしまいました。代わりに一生懸命給食のビーフカレーを作った番長たちですが、まずくて誰も食べてくれません。泣き泣き鍋や食器を洗っていると、戻ってきたおばちゃんたちから、栄養を考え心をこめて作っていることを聞かされます。ようやくおばちゃんたちの気持ちを理解することができた番長たち、次の日の給食では、大きな声で「いただきまーす！」

○きょだいなきょだいな○

（こどものとも劇場）　　対象：幼児～小低
長谷川　摂子／作　降矢　なな／絵　福音館書店　３６×５０ｃｍ
　広い野原の真ん中に、巨大なピアノがありました。子どもが１００人やってきて、ピアノの上で鬼ごっこ。広い野原の真ん中に、巨大なせっけん、ありました。

子どもが１００人やってきて、せっけんに水かけ、すべりっこ。広い野原の真ん中に、巨大な電話がありました。ダイヤル回せば、出たのは地獄の受付さん。広い野原の真ん中に、巨大なトイレットペーパー、ありました。子どもが１００人やってきて、みんなでお尻をふいたって。広い野原の真ん中に、巨大な桃がありました。割ったら、大勢飛び出す桃太郎。広い野原の真ん中に、巨大な泡立て器がありました。空を混ぜたら、雨ザーザー。広い野原の真ん中に、巨大な扇風機がありました。スイッチ入れたら、子どもはみーんな飛んでって、おうちへぽーんと帰ったって。

○きんぎょがにげた○

（こどものとも年少版劇場）　　対象：幼児
五味　太郎／作　福音館書店　４２ｃｍ
　水槽の中に、金魚が１匹います。おや、金魚が逃げ出しました。カーテンに隠れていたと思ったら、また逃げ出してお花の中へ。また逃げ出して、ドアの外へ出て行きました。今度は、どこにいるのかな？びんの中や、いちごの間、テレビやおもちゃ、それから鏡の中に隠れていました。とうとう、仲間がたくさんいる池の中に入って、もう逃げないことにしましたって。２，３歳くらいから楽しめます。

○くじらだ！○

（ビッグ・えほん）　　対象：幼児～小学生
五味　太郎／作・絵　岩崎書店　５２ｃｍ
　湖の上に飛んできた渡り鳥が、「くじらだぁ！」と叫びました。でもこの辺りの人は、くじらなんて知りません。たった一人知っていたおじさんが、くじらは食べられると教えると、漁師たちは湖へ飛び出していきました。でも、くじらは影も形もありません。潜ってみても見あたりません。遠くにくじらの潮吹きらしきものを見つけて駆けつけますが、ポンプの故障でした。しばらく湖の見張りを続けますが、やはりくじらは見つかりません。うそつきと言われた渡り鳥は、女の子を連れて湖の上に飛んでいきます。すると、本当に大きなくじらがいました。くじらというのは、湖のかたちのことだったのです。

○くだものいろいろかくれんぼ○

（ポプラ社のよみきかせ大型絵本）　対象：幼児
いしかわ　こうじ／作・絵　ポプラ社　３８×３８ｃｍ

色んなくだものが隠れています。分かるかな。最初のくだものは、丸くてボールみたい。何かな。くだもののかたちに切り抜かれた頁をめくって、前の頁に重ねると、赤いりんごが出てきました。次は、黄色いバナナ、それから紫色のぶどう、だいだい色のみかん、おうど色のパイナップル、ピンクの桃、緑色のメロン、赤いいちごが出てきます。何のくだものが出てくるか、ヒントをもとに当てるのが楽しい絵本です。２歳くらいから楽しめます。

○くまのコールテンくん○

（ビッグブック）　対象：幼児～小低
ドン・フリーマン／作　まつおか　きょうこ／訳　偕成社
４３×４７ｃｍ
くまのコールテンくんは、デパートのおもちゃ売り場で連れて帰ってくれる人を待っていますが、なかなか現れません。ある朝、女の子がやってきましたが、女の子のお母さんはお金を使ってしまったことと、コールテンくんの服のボタンがとれていることを理由に連れて帰ってはくれませんでした。その夜、コールテンくんは、とれたボタンを探しに行くことにしました。お店の中を探し回っていたコールテンくんが、うっかり電気スタンドを倒してしまうと、警備員のおじさんやってきました。コールテンくんを見つけたおじさんは、おもちゃ売り場に戻してくれました。次の朝、最初にやってきたお客さんは、あの女の子でした。コールテンくんをうちに連れて帰った女の子は、ボタンをつけ直し、ぎゅっと抱きしめてくれましたよ。

○くものすおやぶんとりものちょう○

（こどものとも劇場）　対象：幼児～小中
秋山　あゆ子／作　福音館書店　３６×５０ｃｍ
春爛漫の虫の町です。くものす親分と子分のはえとりのぴょんきちは、盗みの予告状が届いた菓子屋に駆けつけました。明日は虫町の春祭りで、蔵の中には用意されたお菓子がたくさん入っています。それを盗もうというのです。親分は、へそからクモの糸を繰り出して、蔵に糸を張り巡らせました。その夜更け、白い雲がクモの糸を破って蔵の中に入り込み、お菓子を取り込んで逃げようとしました。雲ではなく、蛾のまゆのようです。ぴょんきちが飛びかかると、まゆを運んでいたかくればね三兄弟は、座敷の中に逃げこみました。最後に桜の木の中に隠れた三兄弟は、とうとう親分に見つけられ御用となりました。春祭りにおわびのお菓子運びをした兄弟たちは、今では町の運送屋となって働いています。

○ぐりとぐら○

（こどものとも劇場）　対象：幼児
なかがわ　りえこ／作　おおむら　ゆりこ／絵　福音館書店
３６×５０ｃｍ
　のねずみのぐりとぐらは、大きなかごを持って、森の奥へ出掛けました。二人がそこで見つけたのは、大きな大きなたまご。持って帰ろうとしますが、うまくいきません。道具や材料を運んできて、森でかすてらを作ることにしました。かすてらを焼いていると、森じゅうの動物たちが集まってきました。さあ、おなべのふたを開けると、黄色いかすてらがふんわり。みんなでおいしく食べました。残ったたまごの殻で、ぐりとぐらはすてきなくるまを作ったんですよ。

○ぐりとぐらのえんそく○

（こどものとも劇場）　対象：幼児
中川　李枝子／作　山脇　百合子／絵　福音館書店　３６×５０ｃｍ
　のねずみのぐりとぐらが遠足に出かけました。お昼を楽しみに体操したり走ったりしていると、二人とも落ちていた緑色の毛糸に足をひっかけて転んでしまいました。毛糸を巻きとりながら辿っていくと、野原を通りすぎ、丘を越え森の向こうの家に着きました。家の中に入り、台所を通り抜けて見つけたのは、この家のくまです。くまの毛糸のチョッキは半分以上ほどけかかっています。チョッキを脱いだくまは、ぐりとぐらと一緒に野原へやってきました。ちょうどその時、お昼を知らせる目覚まし時計がリーン。三人で、おなかいっぱいお弁当を食べました。

○ぐりとぐらのおきゃくさま○

（こどものとも劇場）　対象：幼児
中川　李枝子／作　山脇　百合子／絵　福音館書店　５０ｃｍ
　森でのねずみのぐりとぐらが見つけた雪の上の足跡は、二人の家まで続いていました。入り口には大きな長靴、壁には真っ赤なオーバーと白いえりまき、帽子掛けには真っ赤な帽子、暖炉の前には手袋と靴下があります。そして部屋の隅には、とても大きな袋が。二人は家の中を見回りますが誰もいません。かすてらを焼くいい匂いがして台所にいってみると、赤いズボンをはいた白いひげのおじいさんが、焼きたてのクリスマスケーキを持って立っていました。おじいさんは二人にケーキを渡すと、大急ぎで出かけていきました。その夜、ぐりとぐらは大勢の友だちとおいしくケーキを食べました。

○ぐるんぱのようちえん○

（こどものとも劇場）　対象：幼児
西内　みなみ／作　堀内　誠一／絵　福音館書店　３６×５０ｃｍ
　ひとりぼっちの象のぐるんぱは、いつもめそめそしているし、体も汚くしたままです。他の象たちは会議をして、ぐるんぱを働きに出すことにしました。川で洗ってもらったぐるんぱは、すっかり立派になって出発しました。でも、最初に行ったビスケット屋では特大のビスケット、次に行ったお皿つくりのところでは、池みたいに大きいお皿、その次の靴屋では、巨大な靴、ピアノ工場でも巨大なピアノ、自動車工場では、前が見えないほど大きなスポーツカーを作り、使い物にならないと作ったものを持たされ、追い出されてしまったのです。しょんぼりしたぐるんぱが出会ったのは、１２人の子どもがいて大忙しのお母さん。頼まれて子どもと遊ぶぐるんぱのところに、あちこちから子どもが集まってきました。そこで、ぐるんぱは幼稚園を始めることにしたのです。ビスケットやらお皿やら、前に作ったものがとても役に立ったそうですよ。

○月ようびはなにたべる？○

（ビッグブック）　対象：幼児
エリック・カール／作　もり　ひさし／訳　偕成社　５６ｃｍ
　今日は月曜日。月曜日に何食べる？月曜日は、さやいんげん。火曜日は、スパゲッティ。水曜日は、スープ。木曜日は、ハンバーグ。金曜日は、おさかな。土曜日は、チキン。日曜日は、アイスクリーム。おなかのすいた子、みんなおいで。アメリカのわらべうたを元にした楽しい絵本です。

○こすずめのぼうけん○

（こどものとも劇場）　対象：幼児～小低
ルース・エインズワース／作　石井　桃子／訳　堀内　誠一／絵
福音館書店　３６×５０ｃｍ
　お母さんに飛び方を教わったこすずめは、どんどん飛んでいきました。そのうちに羽や頭が痛くなり、からすや山ばと、ふくろう、カモの巣で休ませてもらおうとしますが、仲間ではないので断られます。夕方になり、もう飛ぶことができず地面の上を歩いていると、向こうの方からやってきたのは、お母さんすずめでした。こすずめはお母さんにおぶってもらい、巣に帰って眠ることができました。

○ころころころ○

（こどものとも年少版劇場）　対象：幼児
元永　定正／作　福音館書店　４２ｃｍ
　いろだまが、ころころ転がっていきます。階段みちを登って下って、赤いみちをころころころ。でこぼこみちに坂みち、落ちてしまっても、ころころころ。嵐のみちも山みちも、雲のみちだって、ころころころ。すべり台もころころころと転がって、はい、終点に着きました。２，３歳くらいから楽しめます。

○サンドイッチサンドイッチ○

（こどものとも年少版劇場）　対象：幼児
小西　英子／作　福音館書店　４２ｃｍ
　サンドイッチを、さあ作ろう。ふわふわパンにバターをたっぷり塗って、お次にレタス、それからトマトをのっけるよ。今度はチーズにおっきなハム、そーれ、きゅうりにたまごにマヨネーズものっけよう。最後にパンをもう一枚。さあ切るよ。出来上がり！サンドイッチ、いただきまーす。

○三びきのこぶた○

（こどものとも劇場）　対象：幼児
瀬田　貞二／訳　山田　三郎／絵　福音館書店　５０ｃｍ
　お母さんの家を出て、それぞれの家を建てることにした３びきのこぶた。１ぴき目のこぶたは、わらたばを持った人からわらを分けてもらって、家を建てました。すると、おおかみがやってきて家を吹き飛ばし、こぶたを食べてしまいました。２ひき目のこぶたは、木の枝をかついだ人から枝を分けてもらい、家を建てましたが、同じようにおおかみに食べられてしまいました。３びき目のこぶたは、れんがを運んでいる人かられんがを分けてもらって、家を建てました。おおかみがやってきて、家を吹き飛ばそうとしましたが、うまくいきません。おおかみとこぶたは、かぶやりんごをとりにいく約束をしますが、こぶたはおおかみに捕まらないよう先に行ってしまいます。お祭りにいく約束でも出し抜かれたおおかみは、怒ってこぶたの家の煙突から入り込もうとしますが、こぶたの計略にはまって、晩ごはんに食べられてしまうのでした。

○三びきのやぎのがらがらどん - ノルウェーの昔話 - ○

（傑作絵本劇場）　対象：幼児
瀬田　貞二／訳　マーシャ・ブラウン／絵　福音館書店　４８ｃｍ
　昔、三匹のやぎがいました。名前はどれも、がらがらどんといいます。ある日三匹は、山の草場へ行くことにしました。途中には橋がかかっていて、橋の下には怖ろしいトロルが棲んでいます。一番はじめに、小さいやぎのがらがらどんが橋を渡ろうとすると、トロルが出てきてやぎを食べようとしました。小さいやぎは、次にもっと大きなやぎが来ると言って、橋を渡ることができました。次にやってきた中くらいのやぎのがらがらどんも、もっと大きなやぎが来ると言って、橋を渡ることができました。最後にやってきた大きなやぎのがらがらどんは、トロルをこっぱみじんにしました。三匹は、山の草場でたっぷり食べて、歩いて帰るのもやっとのほど。もし、あぶらが抜けていなければ、今でも太っていることでしょう。

○じしんだ！○

（子どもを守る大きな絵本シリーズ　防災）　対象：幼児（3～5 歳）
ラビッツアイ／文・構成　白土　あつこ／絵　チャイルド本社　50ｃｍ
　地震がきたらどうすればいいか、どのように備えておけばいいかなど、災害時に身を守る方法が学べる、しかけも満載の大型絵本。問いかけやクイズなどで子どもたちと楽しく読むことができる。

○しまふくろうのみずうみ○

（リブリオ出版のビッグブック）　対象：小低～一般
手島　圭三郎／作・絵　リブリオ出版　４４ｃｍ
　ここは、北海道の深い山奥にある湖です。日が暮れるころ、しまふくろうの親子が現れました。山の上には細い三日月がかかり、湖は音もなく静かです。しまふくろうのお父さんが、魚をとりに飛び立ちました。お父さんふくろうは、音も立てずに飛んでいきます。流木に止まって、魚が現れるのを待っていると、こどものふくろうがじれて鳴きました。親子は短く鳴き交わしました。魚のはねる音を聞いて、お父さんは勢いよく舞い上がります。見事に魚を捕らえました。こどもが魚をもらって食べています。湖には音もなく波紋が広がっていきました。夜明けまで、お父さんとお母さんは交代で、幾度も魚をとりに出かけます。いつのまにか親子の姿が見えなくなると、湖に朝霧がかかりました。夜明けを迎えて、

山も湖も青々と輝きます。しまふくろうの親子は、大きな木のうろで眠っています。夕方、また元気な姿を見せることでしょう。

○しゅっぱつしんこう！○

（こどものとも年少版劇場）　対象：幼児
山本　忠敬／作　福音館書店　４２ｃｍ
　お母さんとみよちゃんは、大きな駅から特急列車に乗り込みました。これから、おじいさんの家へ行くのです。特急列車、出発進行！特急列車はぐんぐんスピードをあげ、川にかかる鉄橋の上で電気機関車とすれ違いました。山の麓の駅に着くと、急行列車に乗り換えます。急行列車は山を登り、谷川にかかる鉄橋を渡りました。山の中の駅に着くと、今度は普通列車に乗り換えです。普通列車は、山の奥へと走っていき、トンネルに入りました。トンネルを出ると、山の奥の小さな駅に到着。駅では、おじいさんと友だちが迎えにきてくれていました。２，３歳から楽しめます。

○しりとりのだいすきなおうさま○

（大きな絵本）　対象：幼児～小低
中村　翔子／作　はた　こうしろう／絵　鈴木出版　３６×５０ｃｍ
　あるお城に、しりとりの大好きな王様がいました。何でもしりとりに並んでいないと、気がすまないのです。食事の料理の順番も、しりとりです。最後は王様の大好きなプリンにしなくてはなりません。今日の夕食は、サンドイッチから始まりました。ちくわ、わかめ、めだまやき、きのこ、ココア、アスパラ、ラーメンで終わってしまいました。王様は大怒りです。次の朝、家来たちは相談して、まずトマトを出しました。次は、トースト。そして、また、トマトを出しました。お次は、また、トーストです。トマトとトーストの繰り返しに、王様はとうとう降参して、みんなを困らせることはなくなりました。

○新ウォーリーをさがせ！○

（大型絵本）　対象：幼児～一般
マーティン・ハンドフォード／作・絵　唐沢　則幸／訳　フレーベル館
４２ｃｍ
　ウォーリーが世界旅行に出かけました。ウォーリーや色々なもの、人間たちがどこなのか見つけることができるかな。探すのが楽しい大型絵本です。

○新ウォーリーハリウッドへいく○

（大型絵本）　対象：幼児～一般
マーティン・ハンドフォード／作・絵　唐沢　則幸／訳　フレーベル館
４２ｃｍ
　ウォーリーがハリウッドにやってきました。サイレント映画にトロイアの木馬、外人部隊、にぎやかなショー、アリ・ババと４０人の盗賊、西部劇と三銃士に、恐竜・エイリアン・おばけ、ロビン・フッドの撮影現場、スターのお目見えやミュージカルと、色々なところに出没します。ウォーリーや色々なもの、人間たちがどこなのか見つけることができるかな。探すのが楽しい大型絵本です。

○スイミー○

（ビッグブック）　対象：幼児～小低
レオ・レオニ／作　谷川　俊太郎／訳　好学社　５２ｃｍ
　広い海のどこかに、小さな魚のきょうだいたちが暮らしていました。みんな赤いのに、１匹だけ真っ黒な魚、それが誰よりも泳ぐのが早いスイミーです。ある日、恐ろしいまぐろがきょうだいたちをみんな飲み込んでしまいました。逃げられたのはスイミーだけ。広い海の世界を泳いでいくうちに、スイミーはだんだん元気を取り戻しました。岩かげに自分のきょうだいたちとそっくりの魚たちを見つけたスイミーは、大きな魚を怖がって隠れている彼らに、一緒に泳いで大きな魚のふりをしようと提案します。みんなで大きな魚みたいに泳げるようになった時、スイミーは目の部分になりました。それから、大きな魚を追い出しました。

○すてきな三にんぐみ○

（ビッグブック）対象：幼児～小低
トミー・アンゲラー／作　いまえ　よしとも／訳　偕成社　５３ｃｍ
　黒マントに黒帽子の三人組の泥棒は、ラッパ銃、胡椒吹きつけ、真っ赤な大まさかりを武器に馬車を襲い、宝をたっぷりためこんでいます。ある日、馬車に乗っていた孤児を連れ帰った三人は、その子に宝の使い道を聞かれて、すてきなことを思いつきました。不幸せな捨て子や孤児をどっさり集め、お城を買ってみんなの家にしたのです。子どもはどんどん集まり、成長すると、お城のまわりに村を作って住みました。

○ぜったいにおしちゃダメ？○

（大きな絵本）対象：幼児（０～５歳）
ビル・コッター／作　サンクチュアリ出版　３９ｃｍ×４２ｃｍ
　ルールは一つだけ。それはこの赤いボタンをおしちゃダメということ。ボタンについて考えることさえダメ。できるかな？でも・・・おしちゃったら、一体どうなるんだろう？とにかく笑える愉快な絵本。

○せんたくかあちゃん○

（こどものとも劇場）　対象：幼児～小低
さとう　わきこ／作・絵　福音館書店　３６×５０ｃｍ
　晴れた日、かあちゃんはどんどん洗濯していきます。洗うものがなくなると、猫も犬も子どもたちも、何もかも洗ってしまいました。庭の木から向かいの森の木まで使って縄を張り巡らし、洗濯物を干していきます。それを空から見た雷様は、おへそを取りにいこうとして落っこち、物干しの縄に引っかかってしまいました。かあちゃんが薄汚れた雷様をじゃぶじゃぶ洗うと、目鼻が消えてのっぺらぼうに。そこで、子どもたちが顔を描いてあげると、雷様は大喜びで空へ帰っていきました。次の日、かあちゃんが洗濯をしていると、空から降ってきたのは大勢の薄汚れた雷様たちです。洗濯と顔の描き直しを頼まれたかあちゃんは、もちろん引き受けましたって。

○せんろはつづく○

（読みきかせ大型絵本）　対象：幼児
竹下　文子／文　鈴木　まもる／絵　金の星社　４８×５０ｃｍ
　子どもたちが、野原で線路を作り始めました。どんどんつないでいくと、山がありました。トンネルを掘って、線路を通します。今度は川がありました。橋をかけて通ります。進んでいくと、道にぶつかりました。踏み切りを作って渡ります。その先には、大きな池がありました。池のふちを、回り道していきましょう。線路の始まりが見えてきたので、つなげてみました。ここには駅を作ります。列車がやってきました。駅でみんなが乗り込みます。線路は続く。どんどん続く。列車は走っていきました。

★○せんろはつづくまだつづく○

（読みきかせ大型絵本）　対象：幼児
竹下　文子／文　鈴木　まもる／絵　金の星社　４８×５０ｃｍ
　線路の上を列車が走っていきます。ところが、工事中で線路が途中までしかありません。列車にのっていたこどもたちは、線路をつないで、先にすすみます。すると今度は、すいかがいっぱいでとおれません。さあ、みんなどうする？
「せんろはつづく」の続編です。

○ぞうくんのさんぽ○

（こどものとも劇場）　対象：幼児
なかの　ひろたか／作・絵　なかの　まさたか／レタリング　福音館書店　５０ｃｍ
　今日はいい天気。ごきげんなぞうくんは、散歩に出かけます。途中で会ったかばくんを背中に乗せ、ぞうくんは散歩を続けました。次に会ったわにくんも背中に乗せて歩いていきます。ぞうくんはとっても力持ちです。その次に会ったかめくんも背中に乗せて歩いていくと、あら大変、池に転げ落ちてしまいました。でも、大丈夫。みんなは楽しく水遊びをしました。２，３歳くらいから楽しめます。

○そらの１００かいだてのいえ○

（ビッグブック）　対象：幼児～小低
いわい　としお／作　偕成社　１１６×２１ｃｍ
　ある雪の日、おなかを空かせたシジュウカラのツピくんは、一粒のひまわりの種を見つけました。ツピくんは、花を咲かせて種を増やそうと、植える場所を探して、空へ飛び立ちます。大迫力の長さ１メートル以上の超大型絵本。

○そらまめくんのベッド○

（こどものとも劇場）　対象：幼児
なかや　みわ／作・絵　福音館書店　３６×５０ｃｍ
　そらまめくんの宝物は、そらまめのさやのベッドです。とても大事にしているので、えだまめくんやグリンピースの兄弟、さやえんどうさん、ピーナツくんがベッドを使わせてと頼んでも貸してあげません。でも、ある日、ベッドがなくな

ってしまいました。そらまめくんは探しにいきますが、どこにも見あたりません。気の毒に思ったみんなは自分たちのベッドを貸してあげますが、どれもそらまめくんには合わないのです。仕方なくまた探しにいくと、うずらが卵を暖めるのに、そらまめくんのベッドを使っているではありませんか。そらまめくんは、しばらく様子をみることにしました。やがて卵がかえると、そらまめくんはベッドを返してもらえました。そらまめくんがベッドを持って帰ると、心配していたみんなは喜び、パーティをしました。それからみんな一緒に、そらまめくんのベッドで眠りましたよ。

○だいおういかのいかたろう○

（大きな絵本）　対象：幼児（３～５歳）
ザ・キャビンカンパニー／作・絵　鈴木出版　５０ｃｍ
　湖で凍ってしまっただいおういかのいかたろう。ゆめたくんは、先生やお友達と一緒に、ポットにお湯を入れて助けに行くことに・・・。

○だじゃれ日本一周○

（大型絵本）　対象：小中
長谷川　義史／作・絵　理論社　44ｃｍ
　47 都道府県をだじゃれで笑い飛ばす、日本一周の旅絵本。

○たなばたバス○

（大きな絵本）　対象：幼児
藤本　ともひこ／作・絵　鈴木出版　３６×５０ｃｍ
　今夜は七夕なのに、天気予報は大雨です。空から降ってきた短冊には、「晴れますように　おりひめ」と書かれていました。ねずみたちとバスは、おりひめさまを助けに空へ向かいました。空の上は雨雲でいっぱいです。ねずみがバスの鼻をくすぐると、すごいくしゃみが出て雨雲は全部吹き飛んでしまいました。おりひめさまとひこぼしさまは、天の川にかかったカササギの橋の上で会うことができましたよ。お礼に天の川で冷やしてあった大きなスイカを釣り上げて、みんなでおししくいただきました。ねずみたちとバスは、残ったスイカをお土産にもらって、帰りました。

○たまごにいちゃん○

（大きな絵本）　対象：幼児～小低
あきやま　ただし／作・絵　鈴木出版　５０ｃｍ
　たまごにいちゃんは、お兄ちゃんなのに、まだ卵のカラに入ったままです。ずーっと、卵のままでいたいと思っていたからです。卵でいれば、いつでもお母さんに暖めてもらえるし、動物たちにも遊んでもらえます。今では弟のひよこの方が大きいけれど、ちっとも気にしません。でも、おせっかいなカラスにカラを割られそうになったたまごにいちゃんは、ブタの鼻の穴に逃げ込み、鼻息で吹き飛ばされて、カラにヒビを入れてしまいました。心配しながら夜を明かしますが、結局、カラはバラバラに割れてしまいました。がっかりしたたまごにいちゃんですが、お母さんや弟のひよこに、すっかり大きくなって若鶏らしくなった自分をほめられ、まんざらでもない気持ちになるのでした。

○たまごのあかちゃん○

（こどものとも年少版劇場）　対象：幼児
かんざわ　としこ／文　やぎゅう　げんいちろう／絵　福音館書店
４２ｃｍ
　卵の中に隠れている赤ちゃんは、誰かな。出てきたのは、にわとりの赤ちゃんでした。次の卵には、亀の赤ちゃん、その次の卵からは、へびの赤ちゃんが出てきました。次の卵からは、ぺんぎんの赤ちゃん、その次の大きな卵からは、恐竜の赤ちゃんが出てきましたよ。出てきた赤ちゃんたちは、みんなで元気に歩きます。最後の卵からは、わにの赤ちゃんが出てきました。２歳くらいから楽しめます。

○だるまさんが○

（かがくいひろしの大型絵本１）　対象：幼児
かがくい　ひろし／作　ブロンズ新社　３９×３９ｃｍ
　「だ・る・ま・さ・ん・が」のかけ声をかけて、だるまさんがどてっと転んだかと思えば、ぷしゅーっとつぶれたり、ぷっとおならをしたり、びろーんと伸びたり。最後は、にこっと笑いますよ。繰り返しが楽しい絵本です。１歳くらいから楽しめます。

○だるまさんと○

（かがくいひろしの大型絵本３）　対象：幼児
かがくい　ひろし／作　ブロンズ新社　３９ｃｍ
「い・ち・ご・さ・ん・と」のかけ声をかけたら、いちごさんとだるまさんが、ぺこっとごあいさつ。「ば・な・な・さ・ん・と」のかけ声をかけたら、ばななさんとだるまさんが、おしりをぶつけて、ぽにん。めろんさんとは、ぎゅっと抱きあいます。最後にみんなで積み重なって、うーん、ぱっ。きれいなバランスでポーズを決めましたよ。１歳くらいから楽しめます。

○だるまさんの○

（かがくいひろしの大型絵本２）　対象：幼児
かがくい　ひろし／作　ブロンズ新社　３９ｃｍ
眼鏡をかけただるまさん、「だ・る・ま・さ・ん・の」とかけ声をかけたら、眼鏡を外して「め」と、大きなおめめを見せました。今度は、手袋をつけてかけ声をかけると、手袋を外して「て」と手を見せました。次は、はぶらしを持ってかけ声をかけると、「は」とりっぱな歯を見せましたよ。それから、帽子をかぶって、かけ声をかけたら、「け」。帽子をとった頭には、毛がありました。最後にかけ声をかけて見せたのは、「お」。あらあら、だるまさんって、尾があったっけ？１歳くらいから楽しめます。

○だるまちゃんとかみなりちゃん○

（こどものとも劇場）　対象：幼児
加古　里子／作・絵　福音館書店　３６×５０ｃｍ
だるまちゃんが遊びにいこうと外へ出ると、雨と一緒にへんなものと小さなかみなりちゃんが落ちてきました。かみなりちゃんに頼まれて木の枝にひっかかったへんなものをとろうとしますが、とることができません。そこへ大きなかみなりどんが迎えにきました。かみなりどんはへんなものをとってから、かみなりちゃんとだるまちゃんを雲にのせ、かみなりたちのプールへ案内したりおうちに連れて行ったりしてくれました。かみなりちゃんとだるまちゃんは沢山遊び、ごちそうを食べました。だるまちゃんは、おみやげをもらって自分のおうちに帰りました。

○だるまちゃんとてんぐちゃん○

（こどものとも劇場）　対象：幼児
加古　里子／作・絵　福音館書店　３６×５０ｃｍ
　てんぐちゃんと遊んでいただるまちゃんは、てんぐちゃんがもっているようなうちわやぼうし、はきものや鼻が欲しくなりました。おうちに帰ってだるまどんにいうと、その度に沢山のうちわやぼうし、はきものを出してくれました。欲しいうちわやぼうし、はきものがなかっただるまちゃんは、やつでの葉を持ったり、おわんをかぶったり、おもちゃのまないたをはいたりしました。てんぐちゃんのような鼻がほしいといった時には、おもちをついて、すてきな長い鼻を作ってくれました。おもちの鼻にすずめが止まったので、だるまちゃんは上手につかまえましたよ。そして、てんぐちゃんとなかよく遊びました。

○ダンゴムシみつけたよ○

（ポプラ社のよみきかせ大型絵本）　対象：幼児～小低
皆越　ようせい／写真・文　ポプラ社　３５×４４ｃｍ
　ぼく、ダンゴムシ。ぼくは、落ち葉の下、ぬれた木の幹、ブロックの下にいるよ。暗くてしめったところが大好きなんだ。ぼくたちが食べるのは、落ち葉や枯れた木や草、木の実や虫の死骸なんかだ。うんちは、草や木を育てる栄養いっぱいの土になるよ。
　ぼくたちは、固い殻で身を守る。眠る時や敵に襲われた時には、だんごのように丸くなるんだ。それでも、危険がいっぱいなんだけどね。
　夏が近づくと、オスとメスが出会う。そして、メスはたまごを生むんだ。メスはたまごが孵るまで、おなかに抱いているよ。ほら、赤ちゃんダンゴムシが生まれてきた。赤ちゃんは、生まれてすぐに殻を脱ぐ。大人になるまでに、何度も殻を脱ぐんだ。殻は半分ずつ脱ぐよ。最初が後ろ、次に前。そうして一年ぐらいで大人になる。冬の間、土の中や石の下で眠っているんだ。春になったら会おうね。
身近な生き物を扱った写真絵本。

○ちいさなきいろいかさ○

（よみきかせ大型絵本）　対象：幼児
西巻　茅子／イラスト　もり　ひさし／シナリオ　金の星社　５０ｃｍ
　なっちゃんは、お母さんに小さな黄色い傘を買ってもらいました。雨、降ってこないかな。ぽちんぽちぽち、雨が降ってきました。なっちゃんは、うさぎやり

すくんを傘に入れてあげます。だっくすふんとやばくさんの親子を入れてあげようとすると、傘が広がり入れることができました。きりんさんを入れてあげようとすると、傘は高く伸びてくれました。雨が小降りになってきたので、ばくさん親子は木の下、うさぎさんとりすさんはキノコの下、だっくすくんは土管に入ることにしました。雨がやんだので、なっちゃんはみんなとお別れして、家に帰りました。

○ちいさなくれよん○

（読みきかせ大型絵本）　対象：幼児～小低
篠塚　かをり／作　安井　淡／絵　金の星社　５０ｃｍ
　折れて短くなった黄色いクレヨンが、くずかごに捨てられました。クレヨンはくずかごを飛び出し、靴の色の薄くなったひよこの絵や、色のはげた自転車のおもちゃ、灰色の石をきれいな黄色に塗り直してあげます。ちびて小さくなったクレヨンは、空を見上げ、光の弱い星を見つけると、残りの体全部を使って塗ってあげようと、星に向かって飛んでいきました。

○ちいちゃんのかげおくり○

（あかね書房の大型絵本）　対象：小学生
あまん　きみこ／作　上野　紀子／絵　あかね書房　５０ｃｍ
　戦争中のことです。ちいちゃんのお父さんは出征する前に、「かげおくり」という遊びを教えてくれました。よく晴れた日に、影ぼうしをじっと見つめてから空を見ると、影ぼうしが空に映ってみえるのです。家族で影ぼうしを映した空には、爆弾を積んだ敵機が飛んでくるようになりました。空襲の中を逃げ回ったちいちゃんは、お母さんやお兄ちゃんとはぐれてしまいます。おうちの焼け跡へ戻ってきたちいちゃんは、だんだん弱っていきました。家族の声を聞いて、ちいちゃんの命は空へ昇っていきます。そこには、家族みんながいました。何十年ものち、ちいちゃんが影おくりをした場所は、子どもたちの声でにぎやかな公園になっています。

○ちか１００かいだてのいえ○

（ビッグブック）　対象：幼児～小低
いわい　としお／作　偕成社　１１６×２１ｃｍ
　お風呂好きのクウちゃんがお風呂に入っていると、誰かが地下１００階でのパ

ーティーに来てねと言って、お湯の中に消えていきました。言われたとおり、火山のふもとに行ってみると、地面の下の入り口にすべり落ちました。地下１０階までウサギさんが住んでいるおうちを下っていくと、地下２０階まではアライグマさんのおうちでした。この家は１０階ごとに違う動物が住んでいるのです。その次にはセミのようちゅうさん、その下には、ダンゴムシさん、アリさん、ミミズさん、ハリネズミさん、トカゲさん、モグラさんが住んでいます。地下９０階には、カメさんが住んでいました。そこで、クウちゃんを招いてくれたカメさんが迎えてくれました。地下１００階で待っていたのは、カメのおばあちゃん。今日は、おばあちゃんの１００歳の誕生日パーティーだったのです。クウちゃんは温泉に入ったあと、パーティーに出てました。楽しく過ごしたあと、おばあちゃんの背中に乗せてもらい、湖の上まで送ってもらいました。クウちゃんはあったかい気分でおうちに帰りましたって。大型絵本は、通常版と異なり縦に長い本です。

○ちからたろう○

（ポプラ社のよみきかせ大型絵本）　対象：幼児～小低
いまえ　よしとも／作　たしま　せいぞう／絵　ポプラ社　４９ｃｍ
　昔、子どものいない貧しいじいさまとばあさまがいた。二人はこんび（垢）で小さな人形を作った。こんびたろうと名付けられたその子は、まんまをわしわし食べて大きくなったが、口をきかず何年も寝て暮らしていた。ある日、突然口をきいたこんびたろうは、作ってもらった百貫目の金棒を支えに立ち上がった。その様子に、じいさまが「ちからたろう」と名をつけ直すと、たろうは力試しをするために出かけていった。途中で出会ったみどうっこたろうや、いしこたろうを負かして従え、大きな町に着くと、長者どんの娘が泣いているのを見つけた。今年、化け物に食べられる順番に当たっているという。夜になってやってきた化け物を退治したちからたろうは、お城からの召し抱えの話を断り、娘を嫁にもらって、他の二人と共に村で末永く暮らしたそうだ。

○ちびゴリラのちびちび○

（ほるぷ出版の大きな絵本）　対象：幼児
ルース・ボーンスタイン／作　いわた　みみ／訳　ほるぷ出版
３７×４２ｃｍ
　森の中に、ちびちびという小さなかわいいゴリラがいました。お母さんも、お父さんも、おばあさんもおじいさんも、森のみんなも、ちびちびが大好きでした。

でっかいヘビもちびちびをかわいく思っていましたし、散歩の好きなキリンはちびちびのそばにいて、助けてやりました。ゾウたちも、ちびちびに会いにきました。ライオンのおじさんは、ちびちびを楽しませてやりましたし、かばのおばあさんは、ちびちびが行きたいところへ乗せていってやりました。森の動物たちは、このちびゴリラが大好きだったのです。そんなある日、何かが起こりました。ちびちびがどんどんどんどん大きくなったのです。森のみんながやって来て、ちびちびの誕生日をお祝いしました。ちびちびが大きくなろうが、みんなはちびちびが大好きだったのですから。

○でんしゃでいこうでんしゃでかえろう○

（大きな大きな絵本）　対象：幼児～小低
間瀬　なおかた／作・絵　チャイルド本社　５０×５０ｃｍ
　辺り一面雪景色のやまのえきを、電車が発車します。デデンドドン、デデンドドン。トンネルをぬけると真っ白な雪の野原。またトンネルをぬけると雪の山。次にトンネルをぬけると、鉄橋です。景色から雪は消えて、谷川を雪解け水が流れていきます。次のトンネルをぬけると、そこは海。電車は海辺の丘を走ります。また、トンネルをぬけると、見渡す限り黄色い菜の花畑でした。電車はうみのえきに到着。まもなく、電車は折り返し、やまのえきに戻っていくことでしょう。
　前からでも後ろからでも読める絵本。トンネルの部分には穴があいています。

○でんしゃにのって○

（アリス館のよみきかせ大型絵本）　対象：幼児
とよた　かずひこ／著　アリス館　４３ｃｍ
　うららちゃんは１人で電車に乗って、おばあちゃんに会いに行きます。わにだ駅に着くとわにが乗ってきました。次のくまだ駅ではくまが、その次のぞうだ駅ではぞうが乗ってきました。車内の座席は、満員です。次のうさぎだ駅で乗ってきたうさぎは、ぞうのひざに座らせてもらいました。へびだ駅で乗ってきたへびは、するすると網棚にあがりました。電車にゆられてみんなウトウトしています。うららちゃんが降りるはずのここだ駅で、はっと気がついたぞうは、うららちゃんに声をかけてくれました。うららちゃんが落とした切符を、うさぎが拾って渡してくれました。ホームには、おばあちゃんが迎えにきています。「次は、おばけだ～」とアナウンスしながら、電車が走り出しました。次の駅で待っていたのは、、、。

○ドアがあいて・・・○

（ほるぷ出版の大きな絵本）　対象：幼児～小低
エルンスト・ヤンドゥル／作　ノルマン・ユンゲ／絵　斉藤　洋／訳
ほるぷ出版　３３×４３ｃｍ
　待合室で、けがをしたおもちゃたちが診察を待っています。診察を終えたおもちゃがドアから出てきたので、順番のきたおもちゃが診察室へ入っていきます。待っているのは四人になりました。入ったおもちゃが出てくると、次のおもちゃが入ります。心細い気持ちで待っていた最後のおもちゃが診察室に入ると、そこには優しそうな先生が笑顔で待っていました。

○どうぞのいす○

（大きな大きな絵本）　対象：幼児
香山　美子／作　柿本　幸造／絵　チャイルド本社　５０ｃｍ
　うさぎさんが小さないすを作って、野原の木の下におきました。その横には、「どうぞのいす」と書いた立て札を立てました。最初にやってきたろばさんは、どんぐりのいっぱい入った籠をいすの上におき、木の下で昼寝をはじめました。次にやってきたのは、くまさん。立て札の「どうぞ」を見て、籠の中のどんぐりを全部食べ、代わりにはちみつのびんを入れていきました。次にやってきたきつねさんは、はちみつをみんな食べて、代わりに焼きたてのパンを入れていきました。その次にきたのは、１０ぴきのりすさんたち。パンを食べた代わりに、栗を籠いっぱいに入れていきました。さて、ようやく目を覚ましたろばさんは、籠に入れてあったどんぐりが、栗に変わっているのに、とてもびっくりしました。

○どうぶついろいろかくれんぼ○

（ポプラ社のよみきかせ大型絵本）　対象：幼児
いしかわ　こうじ／作・絵　ポプラ社　３８×３８ｃｍ
　色んな動物が隠れています。分かるかな。最初の動物は、黄色くて動物の王様です。誰かな。動物のかたちに切り抜かれた頁をめくって、前の頁に重ねると、ライオンが出てきました。次は、赤い鳥、それから青いクジラ、緑のカメ、黒い猫、だいだい色の犬、紫色のヘビ、最後に茶色いゴリラが出てきます。何の動物が出てくるか、ヒントをもとに当てるのが楽しい絵本です。２歳くらいから楽しめます。

○どうぶつしんちょうそくてい○

（アリス館のよみきかせ大型絵本）　対象：幼児～小低
聞かせ屋。けいたろう／文　高畠　純／絵　アリス館　５０ｃｍ
　動物園で身長測定をします。みんな並んで待っています。最初はうさぎです。測るのは、耳ではなく頭のさきまでです。次はカンガルー。ジャンプしたので測れませんでした。その次は、キリン。背が高いので、キリン用の身長計で測ります。次は、ワニ。そして、コウモリ、コアラと続きます。コアラは、身長計に登って寝てしまいました。最後のシロクマが測りおえても、まだ眠っていますよ。

○となりのたぬき○

（大きな絵本）　対象：幼児～小低
せな　けいこ／作・絵　鈴木出版　３６×５０ｃｍ
　うさぎは、隣のたぬきが大嫌い。会えば悪口を言ってけんかします。どうにも、たぬきはいけすかない奴です。うさぎがたぬきの悪口を言っているのを、お月様が聞きつけました。お月様は、うさぎのかわりに、たぬきに仕返しをしてくれるといいます。ただし、条件がありました。ひと月の間、たぬきにうんと親切にしてやれ、というのです。早速、うさぎはたぬきに親切にしはじめました。最初はいばっていたたぬきも、だんだんうさぎの親切が身にしみて、うさぎにやさしくするようになりました。なんだか困ってしまったうさぎ、ひと月めにお月様へ頼んだのは、仕返しをやめてもらうことでしたよ。

○とべバッタ○

（ビッグブック）　対象：幼児～小中
田島　征三／作　偕成社　４３×５４ｃｍ
　ちいさなしげみの中にすむバッタには、恐ろしい敵がいっぱいいる。びくびくおびえて暮らすのがいやになったバッタは、堂々と生きることにした。襲ってくるヘビやカマキリをやっつけ、クモをめちゃめちゃにし、鳥に突き当たり、バッタは高く高く跳んでいった。墜落してカエルや魚に食べられそうになった時には、初めて四枚の羽を使い、飛んで逃げ出した。バッタは荒れ地を越え、遥か向こうに飛んでいった。

○ともだちや○

（ビッグえほん）　対象：幼児～小低
内田　麟太郎／作　降矢　なな／絵　偕成社　５０ｃｍ
　夜明けが近い森の中です。ともだちやと書いたのぼりをふりふり、友だち１時間１００円、２時間２００円と言いながら、キツネが歩いています。赤ちゃんを寝かしつけたばかりのウズラのお母さんから、静かにしてと言われてしまいました。キツネが小声で歩いていくと、クマに呼ばれて友だちとして雇われました。好きではないイチゴを一緒に食べて、お腹がしくしくします。お代をもらって歩いていくと、オオカミに呼ばれてトランプをしました。代金をもらおうとすると、友だちからお金をとるのかとオオカミは言いました。オオカミは、ともだちやではなくキツネを呼んだのです。オオカミと友だちになったキツネは、嬉しそうに帰っていきました。

○ドライブにいこう○

（大きな大きな絵本）　対象：幼児～小低
間瀬　なおかた／作・絵　チャイルド本社　５０×５０ｃｍ
　家族でドライブに出かけます。町を過ぎると、山の村。お花畑の中を走りました。丘を越えると谷川です。また丘を越えると、滝が見えました。次の丘を越えると、船やボートの浮かぶ湖です。その次の丘を越えると、緑の野原。みんなでお弁当を食べます。その先の丘を越えたら、鹿やりすのいる森を通りました。次の丘を越えたら、雲の中に入って何も見えなくなりましたが、雲を抜けたら山の頂上に出ました。雲が晴れたら、今まで通ってきたところが、全部見渡せました。それから、みんなで記念写真を撮りました。

○なつのいちにち○

（ビッグブック）　対象：小低～小中
はた　こうしろう／作　偕成社　５１ｃｍ
　暑い夏の日、男の子が捕虫網を持って、１人で虫取りに出かけます。家の前を走り、海辺の堤防を通り、緑の田んぼの中を抜けていきます。クワガタムシをとりに行くのです。くさい牛小屋の前は全速力で走り、お宮の階段の上で一休み。森の中へ入って、クワガタムシのいる木にたどりつきました。苦労して、大きなクワガタムシを捕まえました。帰り道は、夕立の中を走ります。ずぶぬれだけど、平気。とったクワガタムシ、とってもカッコイーからね！

○なにをたべてきたの？○

（よみきかせ大型絵本）　対象：幼児
岸田　衿子／作　長野　博一／絵　佼成出版社　５０ｃｍ
　しろぶたくんが、何か食べにいきます。最初に食べたのは、おいしそうなりんご。次に食べたのは、すっぱいレモン。それから、大きなメロン。そして、あまーいぶどう。今度は、ぴかぴかのせっけんを食べてしまいました。せっけんはおなかの中で、ぷくんぷくん。しろぶたくんは、ごろごろ転がっていきます。鼻からは、しゃぼんがぷくぷく飛んでいきました。ようやく落ち着いたしろぶたくん、みんなから「前より大きくなったみたい。何と何を食べてきたの？」と言われました。

○にじいろのさかな○

（世界の絵本　大型絵本）　対象：幼児～小低
マーカス・フィスター／作　谷川　俊太郎／訳　講談社　４７ｃｍ
　青く深い遠くの海に、１匹の魚が住んでいた。虹色に輝くうろこを持った、世界一美しい魚だ。他の魚は見とれて、その魚を「にじうお」と呼んだ。だが、にじうおは傲慢だった。たった１枚、虹色のうろこを分けてほしいと頼んだ小さな青い魚を、手ひどくおっぱらった。それを聞いた他の魚は、にじうおに関わろうとしなくなった。さびしい独りぼっちの魚になったにじうおは、賢いタコの言うことを聞いて、美しいうろこを他の魚にあげるようにした。とうとう、輝くうろこが１枚だけになったにじうおは、もう一番美しい魚ではなくなった。でも、たくさんの友だちに囲まれて、幸せに暮らしている。

○にゃーご○

（大きな絵本）　対象：幼児～小低
宮西　達也／作・絵　鈴木出版　５０ｃｍ
　「猫に会ったら、すぐ逃げること。食べられてしまいますよ。」３匹のこねずみは、先生の大事な話を聞いていませんでした。桃をとりにいった３匹は、途中で猫に会いますが、それが猫だと分かりません。猫の背中に乗せてもらって、一緒に桃をとりにいくことに。猫は桃を食べたあと３匹を食べようとしますが、こねずみたちの勘違いや優しい心遣いにどぎまぎして、何もせずに帰っていくのでした。

○にんじんとごぼうとだいこん○

（大きな絵本）　対象：幼児
和歌山　静子／絵　鈴木出版　４４ｃｍ
　むかしむかし、にんじんとごぼうと大根が仲良く暮らしていました。ある日、みんなでお風呂をわかして入ることにしました。最初に入ったのは、にんじん。お湯に我慢してつかっていたにんじんは、真っ赤になりました。次に入ったのは、ごぼう。熱いお湯にちゃんと体を洗わず飛び出たごぼうは、黒いままです。最後に入ったのは、大根。ちょうどいいお湯加減にしてゆっくりつかり、それから体をごっしごっし。真っ白になりました。こんなわけで、にんじんは赤く、ごぼうは黒く、大根は白いのです。日本の民話絵本。

○ねずみくんのチョッキ○

（ポプラ社のよみきかせ大型絵本）　対象：幼児
なかえ　よしを／作　上野　紀子／絵　ポプラ社　４４ｃｍ
　お母さんが編んでくれたねずみくんの赤いチョッキは、とてもすてき。色々な動物が「ちょっときせてよ」とやってきます。とりさん、さるくん、オットセイくん、ライオンくん、うまさん、象くん。みんながチョッキを着ていくうちに、とうとうチョッキは、長～く伸びきってしまいました。ねずみくんは、しょんぼり。でもね、象くんがそのチョッキで、ブランコをして遊んでくれたんだって。

○ねずみのいもほり○

（大きな大きな絵本）　対象：幼児
山下　明生／作　いわむら　かずお／絵　チャイルド本社　５０ｃｍ
　ねずみの七つ子たちは、明日、お父さんといもほり大会にいきます。お父さんがみんなに、いもほりのスコップを作ってくれました。
　翌朝早くに、七つ子たちは、リュックとスコップを持って出発しました。スコップでぴょんぴょんとびやそりすべり、でんしゃごっこやケーブルカー遊びをしているうちに、いもほり農園に到着しました。早速いもほりを始めると、大きな大きなおいもを見つけてびっくり。そのおいもで、いもほり大会の１等賞をもらいました。表彰式のあとは、みんなでおいもパーティーです。掘ったばかりのおいもを、おいしく食べましたよ。
　１等賞をもらった大きなおいもは、お母さんへのおみやげにすることにしました。でも、あんまり大きくて運べません。お父さんは、おいもの中身を削って、

カヌーにすることにしました。出来上がったのを川に浮かべ、お父さんと七つ子たちが乗り込んで出発。おいも号は、川を下って帰っていきました。

○ねずみのかいすいよく○

（大きな大きな絵本）　対象：幼児
山下　明生／作　いわむら　かずお／絵　チャイルド本社　５０ｃｍ
　ねずみの七つ子たちが通うちゅうがっこうは、明日から夏休みです。家族みんなで、海に行くことになりました。よく晴れた朝、お弁当を持って電車に乗り、海へ向かいます。着いた海水浴場は、超満員。静かな小さい入り江をみつけて海遊びをすると、お弁当を食べてお昼寝です。お父さんが大きな岩の上で寝ていると、いつの間にか潮が満ちて海の上に取り残されてしまいました。実は泳げないお父さんのために、つないだ浮き輪を持った子が泳いで助けにいきます。無事にお父さんを浮き輪に乗せると、結んでおいたひもをみんなで引っぱり、浜辺へ引き寄せました。帰りの電車の中で、お父さんと七つ子たちはぐっすり眠りこんでいました。

○ねずみのさかなつり○

（大きな大きな絵本）　対象：幼児
山下　明生／作　いわむら　かずお／絵　チャイルド本社　５０ｃｍ
　寒い冬、七つ子たちが凍った湖でスケートをしていると、いたちくんとお父さんが氷に穴を開けて釣りをしていました。うちに帰って明日釣りに行こうとお父さんとお母さんを誘うと、子どもの頃釣りが上手だったお母さんが一緒に行ってくれることに。氷の上をうまく歩けないというお母さんのために、お父さんがいすぞりを作ってくれました。次の朝、お母さんをいすぞりに乗せて出発です。七つ子たちは湖で釣りを始めますが、１匹釣れたきりなかなか釣れません。お母さんが代わると、いきなり８匹も釣り上げました。湖の上で魚を焼き、みんなでおいしく食べました。残りの１匹は、お土産にして帰ります。

○ねずみのでんしゃ○

（大きな大きな絵本）　対象：幼児～小低
山下　明生／作　いわむら　かずお／絵　チャイルド本社　５０ｃｍ
　森に春が来て、ねずみのお母さんは大忙し。明日から七つ子たちの学校が始まるのです。でも、七つ子たちは色々理由をつけて、学校に行きたがりません。そこで、お母さんは青い毛糸玉を使って、学校までの線路をつくっておきました。

翌日、お母さんが毛糸の線路に立って、「電車、しゅっぱーつ！」と言うと、子どもたちはあわててくっついてきました。ねずみのでんしゃになって、学校へ行くのです。でも大変、薄暗いトンネルに入ると、向こうからヘビがやってきました。ところが、ヘビはびっくりして逃げ出したのです。七つ子たちの後には、学校へ向かう大勢のねずみたちが連なって、巨大なヘビのように見えたのでした。

七つ子たちは、毎朝楽しく学校へ行くようになりました。今日も森の中を、長い長いねずみのでんしゃが走っていることでしょう。ねずみたちとヘビが鉢合わせする場面は、頁が両面開きとなり、横長の画面を楽しめます。

★〇ノラネコぐんだんきしゃぽっぽ〇

（ビッグブック）　対象：幼児～小低

工藤　ノリコ／作・絵　白泉社　４４×４４ｃｍ

いたずらっこのノラネコぐんだんが、ワンワンちゃんのきしゃぽっぽにのりこんで、しゅっぱつしんこう！すると、ワンワンちゃんが「そのきしゃ、とまれー」と、おいかけてきました。せきたんをどんどんいれて、ワンワンちゃんからにげたノラネコぐんだんですが、つかれておなかがすいてきて・・・。

〇ノラネコぐんだんパンこうじょう〇

（コドモエのえほん）　対象：幼児（０～５歳）

工藤　ノリコ／著　白泉社　44×４４ｃｍ

ワンワンちゃんのパン工場には、おいしそうなパンがいっぱい。パンを作るところをのぞき見していたノラネコ軍団は、夜中に工場に忍び込んで、見よう見まねでパンを作りはじめたけれど・・・。

〇のりものいろいろかくれんぼ〇

（ポプラ社のよみきかせ大型絵本）　対象：幼児

いしかわ　こうじ／作・絵　ポプラ社　３８×３８ｃｍ

色んな乗り物が隠れています。分かるかな。最初の乗り物は、人をいっぱい乗せるよ。何かな。乗り物のかたちに切り抜かれた頁をめくって、前の頁に重ねると、黄色のバスが出てきました。次は、クリーム色の船、それから緑色のトラック、白い飛行機、だいだい色の電車、青いヘリコプター、赤い自転車、最後に虹色の気球が出てきます。何の乗り物が出てくるか、ヒントをもとに当てるのが楽しい絵本です。２歳くらいから楽しめます。

○はじめてのおつかい○

（こどものとも劇場）　対象：幼児～小低
筒井　頼子／作　林　明子／絵　福音館書店　３６×５０ｃｍ
　ある日、みいちゃんはママからお使いを頼まれました。みいちゃんは初めてお使いにいくのです。百円玉を握りしめて歩いていくと、自転車とすれ違ったり、友だちに会ったりしました。途中、転んでお金をなくしそうになったけれど、なんとかお店に辿りつきました。でも、お店の人が出てきません。困っていると次々にお客がやってきて、出てきたお店の人はみいちゃんに気づいてくれません。でも、ようやく声をかけて牛乳を買うことができました。受け取るのを忘れたおつりを渡してもらって家に向かうと、途中までママが迎えに来てくれていました。

○はじめてのおるすばん○

（ビッグ・えほん）　対象：幼児
しみず　みちを／作　山本　まつ子／絵　岩崎書店　５０ｃｍ
　３歳のみほちゃんは、初めておうちで留守番をすることになりました。お母さんが出かけた後の家の中は、なんだか怖いようです。小包を持って郵便屋さんがきますが、お母さんがいないので、紙切れを置いていきました。次にきたのは、新聞の集金屋さんです。みほちゃんは、ポストのふたからのぞく人の目が怖くてなりません。集金屋さんも帰っていきました。「ぴん・ぽーん」ようやく、お母さんが帰ってきて、みほちゃんはほっとします。お母さんに、留守番中にあったことを教えてあげました。それから、お母さんのおみやげのプリンをおいしく食べたのでした。

○バスでおでかけ○

（大きな大きな絵本）　対象：幼児
間瀬　なおかた／作・絵　チャイルド本社　５０×５０ｃｍ
　雪が降り出しそうな寒い日、家族でバスに乗ってお出かけすることになりました。すてきなところへ行くんですって。みんなでバスに乗ると、バスはスケート場や動物園、大きな船が停泊している港、遊園地のバス停に停まって終点に着きました。そこで別のバスに乗り換えると、デパート前で停まったあと、町を通り抜け山の中のバス停までやってきました。そこでバスを降りると、大きなもみの木が見えました。裏側に回って眺めたもみの木は、葉の間から町の灯りをのぞかせて、星をちりばめたように輝いていました。近くのレストランでもみの木を眺めながら、食事をしました。すてきな夜でしたよ。

○はっぱのおうち○

（こどものとも年少版劇場）　対象：幼児
征矢　清／作　林　明子／絵　福音館書店　４２ｃｍ
　さちが庭で遊んでいると、雨が降ってきました。木や草の下の葉っぱのおうちに入ったから、大丈夫です。おうちにかまきりが入ってきたので、少し離れたところに止まってもらいました。それから入ってきたのは、もんしろちょうにコガネムシ、テントウムシやありでした。みんなで一休みしていると、明るくなって雨が上がりましたよ。さあ、ほんとのおうちに帰りましょう。

○花さき山○

（ビッグ・えほん）　対象：小低～一般
斎藤　隆介／作　滝平　二郎／絵　岩崎書店　５２ｃｍ
　山菜とりに山へ入って、道に迷ってしまったあや。そこで出会った山ンばは、そのあたり一面に咲く花の由来を話しはじめた。その花は、ふもとの村の人間が優しいことを一つすると一つ咲くというのだ。あやの足元に咲く赤い花は、あやが咲かせたものだという。あやが自分の分を我慢して、妹のそよに祭り着を作ってもらった時に咲いたそうだ。辺りには、幼い双子の兄が咲かせた花もある。
花だけではない。この山、あの山も、八郎や三コという名の男が、命を捨てて優しいことをした時に生まれたものだそうだ。山から帰ったあやの話を信じた者はいなかった。あやが再び山へ行っても、あの花も花さき山も見つからなかった。だが、その後、あやは「おらの花が咲いてるな」と思うことがあった。

○パパ、お月さまとって！○

（ビッグブック）　対象：幼児
エリック・カール／作　もり　ひさし／訳　偕成社　５９ｃｍ
　お月さまと遊びたくなったモニカですが、手をのばしてもお月さまには届きません。パパに「お月さまとって！」とお願いしました。パパは長いはしごを高い山のてっぺんに立てて、お月さまのところまで登っていきます。でも、満月のお月さまは大きすぎて持って帰ることができません。お月さまは、自分がだんだん小さくなってちょうどよい大きさになったら連れて帰ってほしいといいます。お月さまがちょうどよい大きさになった時、パパはお月さまを連れて帰りました。お月さまは、モニカと遊んでいる間もだんだん小さくなり、ぽっと消えてしまいました。少したったある晩、空には細いお月さまが浮かんでいました。お月さまはだんだん大きくなり、満月になりました。

○バムとケロのおかいもの○

（大型絵本）　対象：幼児～小低
島田　ゆか／作・絵　文溪堂　３２×４１ｃｍ
　今日は、月に一度のお買い物の日です。いつもは朝寝坊のケロちゃんが、さっさと起きて朝の用意をしていました。バムとケロと友だちのかいちゃんとで、車に乗って市場へ向かいます。市場では布地や野菜を買ったり、ハムスターのお店に寄ったりしました。お腹がすいたので、お昼を買って食べます。帰ろうとすると、ケロちゃんがいません。ケロちゃんは、たくさんの扉の中に品物があるお店にいました。帰る前に、骨董屋さんでケロちゃんが選んだフライパンを買いました。家に着くと、くたびれていたみんなはあっという間に眠ってしまいました。翌朝、ケロちゃんが買ってきたフライパンで作ってくれたのは、楽しいかえる模様のパンケーキでしたよ。

○バムとケロのさむいあさ○

（大型絵本）　対象：幼児～小低
島田　ゆか／作・絵　文溪堂　３２×４１ｃｍ
　今日はとても寒い日です。バムとケロが裏の池へ行ってみると、凍った池で、あひるが凍りついて動けなくなっていました。あひるを助け出し、家に連れて帰って介抱すると、すっかり元気になりました。どうやら星を見ているうちに、池と一緒に凍りついてしまったようです。かいちゃんというあひるに、ケロちゃんはすっかり夢中です。遊び疲れて眠ってしまった翌朝、かいちゃんはいなくなっていました。池に行ってみると、かいちゃんがまた凍りついて動けなくなっていました。

○バムとケロのそらのたび○

（大型絵本）　対象：幼児～小低
島田　ゆか／作・絵　文溪堂　３２×４１ｃｍ
　バムに、おじいちゃんから手紙と小包が届きました。手紙は、おじいちゃんの８０歳の誕生日の招待状でした。それに、屋根裏の本を持ってくるようにと書いてあります。小包の中身は、組み立て式飛行機でした。飛行機を組み立て、みんなで乗り込みさあ出発！最初に見えてきたのは、たまねぎ山脈です。手紙には、「ゴーグルをつけて通ること」とあります。そうしないと涙が止まらなくなるんですって。次に見えてきたのは、りんご山。山にあいた洞穴に入ると、虫がいっぱい。手紙を見たら、「通らないこと」って。それから見えてきたのは、かぼちゃ

火山。５０年に一度の噴火にあたってしまいました。手紙には、「気をつけること」とありました。海の上に出ると、小さな島がいくつも浮かんでいます。ここには、大ウミヘビがいました。手紙には、「注意すること」とあります。お弁当のホットドッグを食べながら進むと、岩のトンネルがありました。くぐると、吸血コウモリがいっぱい！ケチャップをまいて切り抜けます。手紙には、「入ってはいけない」ですって。そうして、やっとおじいちゃんの家に到着。誕生日のお祝いをしたあと、おじいちゃんが屋根裏から持ってきた本を読んでくれました。『ふしぎなひこうきじいさん』という本でしたよ。

○バムとケロのにちようび○

（大型絵本）　対象：幼児～小低

島田　ゆか／作・絵　文溪堂　３２×４１ｃｍ

雨の日曜日。ケロちゃんは、庭で水遊びをしています。バムは家の中で本を読む前に、散らかった部屋を片付けることにしました。やっときれいになったところへ、泥だらけのケロちゃんが帰ってきました。ふたりでお風呂に入ってから、泥で汚れたところをお掃除します。それから、おやつのドーナツをたくさん作り、読む本を取りに屋根裏部屋へ。暗い中をよく見てみると、虫やねずみがうじゃうじゃいます。ドーナツを離れたところに置き、虫やねずみが群がっているうちに本を取ってくることができました。手を洗ってお茶の用意をし、ゆっくり本を読むはずが、いつのまにかふたりとも眠っていました。

○バムとケロのもりのこや○

（大型絵本）　対象：幼児～小低

島田　ゆか／作・絵　文溪堂　３２×４１ｃｍ

森の中で、バムとケロが使われていない小屋を見つけました。修理が得意な何でも屋のソレちゃんに電話をすると、次の朝早く道具をいっぱい車に積んでやってきました。みんなで小屋に行ってみると、中はクモの巣とゴミだらけ。きれいに掃除をして、修理に草刈り、ペンキ塗りまでやりました。翌朝、小屋に入ると、友だちのかいちゃんがペンキにくっついて動けなくなっていました。塗りたてのペンキに気づかず、星を見ていたようです。みんなで秘密の『星をみる会』をすることにして、準備をして星が出るのを待っているうちに、誰もが眠っていました。気がついたら、やってきた友だちで小屋の中はいっぱいです。秘密の『みんなで星をみる会』に変更したけれど、全然秘密じゃないような？

○はらぺこあおむし○

（ビッグブック）　対象：幼児
エリック・カール／作　もり　ひさし／訳　偕成社　４２×５８ｃｍ
　お月さまが、葉っぱの上にちっちゃなたまごを見つけました。暖かい日曜日の朝、たまごからちっぽけなあおむしが生まれました。あおむしは、おなかがぺっこぺこ。月曜日、りんごを１つ見つけて食べました。火曜日にはナシを２つ、水曜日にはすももを３つ、木曜日にはいちごを４つ、そして金曜日にはオレンジを５つ食べました。土曜日に食べたのは、チョコレートケーキ、アイスクリーム、ピクルス、チーズ、サラミ、ぺろぺろキャンディー、さくらんぼパイ、ソーセージとカップケーキとすいか！ですって。その晩、あおむしはおなかが痛くて泣きました。次の日は、また日曜日。あおむしは、おいしい緑の葉っぱを食べて具合がよくなりました。今では、あおむしはすっかり太っています。まもなく、さなぎになって眠りました。やがて、さなぎから出てきたのは、とても美しいちょうちょでした。

○１００かいだてのいえ○

（ビッグブック）　対象：幼児～小低
いわい　としお／作　偕成社　１１６×２１ｃｍ
　星を見るのが大好きな男の子トチくんのところに、送り主の分からない手紙が届きました。１００階建ての家のてっぺんに住んでいるので、遊びにきてねというお誘いです。地図を見ながら森の中を歩いていくと、その家が見つかりました。入ってみると、１階から１０階まではネズミさんのおうちになっています。２０階まではリスさんのおうちでした。この家は１０階ごとに違う動物が住んでいるようです。その次にはカエルさん、その上には、テントウムシさん、ヘビさん、ミツバチさん、キツツキさん、コウモリさん、カタツムリさんが住んでいました。９１階から上に住んでいたのは、クモさんです。家の外側にエレベーターをつける工事をしていました。１００階で待っていたのは、クモの王子様でした。二人でお茶を飲んで、部屋にある大きな望遠鏡で星を見ました。トチくんはまた遊びに来ることを約束して、できたばかりのエレベーターで地上まで帰りました。うちに帰ったトチくん、王子様にお礼の手紙を書きましたよ。大型絵本は、通常版と異なり縦に長い本です。

○ぴょーん○

（ポプラ社のよみきかせ大型絵本）　対象：幼児
まつおか　たつひで／作・絵　ポプラ社　３７×３７ｃｍ
　かえるがぴょーん。こねこがぴょーん。いぬが、ばったが、うさぎが、ぴょーん。かたつむりは、、、無理でした。にわとりとひよこが、いっしょにぴょーん。さかなも、ぴょーん。そして、わたしも、ぴょーん。単純な繰り返しが楽しい絵本です。１歳くらいから楽しめます。

○ふしぎなカサやさん○

（読みきかせ大型絵本）　対象：幼児（０～５歳）
みやにし　たつや／作・絵　金の星社　５０ｃｍ
　林の中にあるふしぎなカサやさん。「カサを開いてごらん」とタヌキのおじさんに言われて、ブタくんがカサを開くと、空から降ってきたのは雨じゃなくて・・・。

○ふしぎなタネやさん○

（読みきかせ大型絵本）　対象：幼児（０～５歳）
みやにし　たつや／作・絵　金の星社　５０ｃｍ
　ブタくんは森の中でふしぎなお店を見つけました。タネをうめるとふしぎなことが起こるというタネ屋さんです。もらったタネをうめてみると、にょきにょきにょきっと木が生えてきて・・・・。

○フレデリック　ちょっとかわったのねずみのはなし○

（ビッグブック）　対象：幼児～一般
レオ・レオニ／作・絵　谷川　俊太郎／訳　好学社　５２ｃｍ
　もうすぐ冬がやってきます。牧場ぞいの古い石垣の中に住むのねずみたちは、冬の間の食べ物集めに大忙し。でも、フレデリックだけはお日様の光やいろんなものの色、言葉を集めました。そして冬、食べ物も乏しくなり凍えている時、みんなはフレデリックの集めていたものを思い出しました。フレデリックがお日様やいろんな色について話すとみんなの体は暖かくなり、頭の中にはっきりと色が見えました。フレデリックが言葉について話すと、それは詩でした。みんなは、彼を詩人だと言いました。フレデリックも赤くなりながら、それを認めました。

○へびくんのおさんぽ○

（大きな絵本）　対象：幼児
いとう　ひろし／作・絵　鈴木出版　４４ｃｍ
　へびくんがお散歩に出かけると、道の真ん中に大きな水たまりができていました。その上をへびくんが渡ろうとすると、アリが背中を渡らせてと頼んできました。気持ちよく頼みをきいたへびくんの背中を、アリ、かたつむり、とかげにねずみが渡っていきます。みんなが渡り終えたあと、他に渡るひといませんかと聞いたへびくん、次にその背中を渡っていったのは、犬にライオン、それからゾウでした。ぐったりしたへびくん、水たまりを渡ったあと、その水を全部飲み干し、散歩を続けましたって。

○へんしんオバケ○

（読み聞かせ大型絵本）　対象：幼児～小低
あきやま　ただし／作・絵　金の星社　５０ｃｍ
　あるところに、くぐり抜けるとオバケになってしまう洞窟がありました。大砲が「たいほうたいほう」と叫びながら中に入ると、「ほうたいほうたい」と言いながら、包帯をまいたミイラになって出てきました。「タケタケ」と言いながら竹が入ると、ケタケタ笑うガイコツおばけになって出てきました。たけしじいさんが入るとしいたけになり、やぎが入ると怪物になって出てきて、「ぎやーっ」と叫んでいます。りんごはゴリンに、スープは「ぷすーぷすー」とおならを出すおしりおばけになりました。口が入るとちくちくに、ゴンドラが入るとドラゴンになり、最後に馬が「ぱかっぱかっ」と入ると河童になって出てきました。その河童、変身トンネルを見つけて入ろうとしていますよ。

○へんしんトンネル○

（読み聞かせ大型絵本）　対象：幼児～小低
あきやま　ただし／作・絵　金の星社　５０ｃｍ
　ふしぎなトンネルがありました。くぐり抜けると変身してしまうのです。カッパが「かっぱかっぱ」と呟きながらくぐると、「ぱかっぱかっ」と馬になって出てきました。時計が「とけいとけい」とつぶやきながらくぐると、けいとになって出てきました。ぼたんが入るとたんぼになり、ロボットたちが「ロボロボ」とくぐると、ボロボロになって出てきました。怒ったひとが「こらっこらっ」とくぐるとらっこになり、えりちゃんがくぐるとりえちゃんになり、チョコのきょうだいがくぐると、「こちょこちょ」とくすぐりあうきょうだいが出てきました。今度

はぶーちゃんが挑戦します。でてきたのはちゃんぶー。最後にゴリラが「うほうほ」とくぐると、「ほうほう」と鳴くふくろうになりました。トンネルの外はもう夜です。

○ぼくにげちゃうよ○

（ほるぷ出版の大きな絵本）　対象：幼児
マーガレット・W．ブラウン／作　クレメント・ハード／絵
いわた　みみ／訳　ほるぷ出版　３３×３９ｃｍ
　こうさぎは家を出て、どこかへ行ってみたくなりました。お母さんに「ぼくにげちゃうよ」と言うと、お母さんはかわいいぼうやを追いかけていきますよ、と答えました。ぼうやが魚になったら漁師になって釣り上げ、高い山の上の岩になったら登山家になって登っていき、庭のクロッカスになったら風になって吹き、サーカスの空中ブランコで逃げるなら綱渡りをして追いかけ、人間の子どもになったら人間のお母さんになって抱きしめますよ、と言います。それなら、うちにいるのと同じだなと思ったこうさぎは、逃げ出すのをやめ、にんじんを食べました。

○ぼくのくれよん○

（講談社の創作絵本　大型絵本）　対象：幼児
長　新太／作・絵　講談社　５３ｃｍ
　くれよんがあります。でもね、このくれよんは、猫よりも大きいのです。これは、ぞうのくれよんでした。ぞうは青いくれよんを鼻でつかむと、大きな楕円を描きます。池だと思って飛び込んだカエルは、びっくりです。今度は、赤いくれよんでびゅーびゅー塗りつぶしました。火事だと思った動物たちが逃げ出します。次に、黄色のくれよんでびゅーびゅー。バナナかと思った動物たちが食べようとしますが、食べられません。ぞうはライオンに怒られてしまいました。でも、まだ描き足りないぞうは、くれよんを持って駆け出していきました。

○まどから★おくりもの○

（ビッグブック）　対象：幼児
五味　太郎／作・絵　偕成社　４３×４５ｃｍ
　ヘリコプターに乗って、サンタクロースさんがやってきました。今日はクリスマス。窓から贈り物を配ってまわります。サンタさんは窓から見える顔や体の模様、形、色を見て贈り物を決めていきますが、どうやら勘違いも多いようです。

部屋の中には誰がいたのかな。最後は、みんな素敵な贈り物をもらえたようです。窓の部分に、穴があいている絵本です。

○めっきらもっきらどおんどん○

（こどものとも劇場）　対象：幼児～小低
長谷川　摂子／作　ふりや　なな／絵　福音館書店　３６×５０ｃｍ

夏の日、遊ぶ友達が見つからないかんたは、神社の境内でめちゃくちゃな歌を歌った。すると、近くの木の根元から、不思議な声が。穴をのぞきこんだかんたは、まっさかさまに穴の中へ落っこちた。着いたところは、夜の山。向こうの空からへんてこりんな３人組がやってきた。もんもんびゃっこにしっかかもっかか、おたからまんちんという名のお化けたちだ。かんたは、お化けたちと順番に遊ぶことにした。最初は、しっかかもっかかとモモンガーごっこ、次におたからまんちんとお宝交換、それからもんもんびゃっこと縄跳び。最後に、みんなで空飛ぶ丸太に乗り、かんたのめちゃくちゃな歌を歌った。さんざん遊んだあとは、おもちがなる木のおもちを食べ、お化けたちは眠ってしまった。月を見ていて心細くなったかんたがお母さんと叫ぶと、あっという間にかんたは光の中へ吸い込まれ、神社の境内の木の前に戻っていた。

その後、お化けたちとは会えない。あの歌を歌えばと思うけれど、かんたは歌を思い出せなかった。

○もぐらバス○

（ビッグブック）　対象：幼児～小低
佐藤　雅彦／原案　うちの　ますみ／文・絵　偕成社　４０×５５ｃｍ

暖かな春の日です。地面の下には、ぐねぐね伸びる小さなトンネルがあって、もぐらバスが行き来しています。物置の下１丁目のバス停から、家ねずみの奥さんが乗ってきました。お昼前のバスは、マーケットへいく人で少し混んでいます。バスが急ブレーキをかけました。道路の真ん中に、大きなたけのこが顔を出しています。もぐら建設の穴掘り係が呼ばれて、たけのこを掘り出します。次にやってきた運搬係がたけのこを運び出し、建設係が道路を直しました。バスは再び走り出し、マーケットへ到着しました。さっき掘り出されたたけのこは、マーケットで茹でられて、無料で配られます。その日は沢山の家で、たけのこがふるまわれました。もぐらバスの運転手の家でも、たけのこ料理の大ごちそうでした。

○もこもこもこ○

（みるみる大型絵本）　対象：幼児～一般
谷川　俊太郎／作　元永　定正／絵　文研出版　４４ｃｍ
　何もありません。しーんとしています。と、思ったら、「もこ」。地面が盛り上がりました。「もこもこ」と大きく盛り上がった隣で、「にょき」と小さく出てきました。「もこもこもこ」ともっと大きくなった隣で、「にょきにょき」と、お団子ふたつみたいになりました。「もこもこもこ」は大きく口をあけて、三つのお団子になった「にょきにょき」をぱくっ。そして、もぐもぐ。「もこもこもこ」の上の方に、赤くて小さな丸いものができました。丸いものは、ぽろりと地面に落ちてぷうっと膨らみ、大きくなってぎらぎらしています。それは、ぱちん！とはじけて、三方に飛び散りました。やがて、かけらがふんわふんわと降ってきました。そして、また、しーん。「もこ」。また、地面が盛り上がりました。不思議で楽しい絵本です。１歳くらいから楽しめます。

○モチモチの木○

（ビッグ・えほん）　対象：幼児～一般
斎藤　隆介／作　滝平　二郎／絵　岩崎書店　５３ｃｍ
　豆太は、夜、外のセッチンに行くのが怖い。おもてには大きなモチモチの木があって、豆太をおどかすように思えるからだ。夜、セッチンに行く時は、いつもじさまについていってもらう。今夜、霜月二十日は山の神様のお祭りで、夜中にモチモチの木に灯がともる日だとじさまは言う。勇気のある、たった一人の子どもしか見られないとも。豆太ははなからあきらめて布団にもぐった。だが、その夜、豆太はじさまの苦しむ声で目が覚めた。ふもとの医者を呼びに夜道を走りに走り、医者を連れて戻る途中、豆太はモチモチの木に灯がともっているのを見た。次の朝、腹痛の治ったじさまは、豆太の勇気を優しくねぎらってやった。

○ももたろう○

（傑作絵本劇場）　対象：幼児～小低
松居　直／文　赤羽　末吉／絵　福音館書店　３６×３７ｃｍ
　昔、あるところにおじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました。おばあさんが川で洗濯をしていると、川上から大きな桃が流れてきました。おばあさんがその桃をうちへ持って帰り、おじいさんと桃を割ろうとすると、桃が割れて中からかわいい男の子が生まれました。ももたろうと名付けられた男の子は、賢く力持ちに育ちました。

ある日、悪い鬼のうわさを聞いたももたろうは、日本一のきびだんごを拵えてもらい鬼退治に出かけていきました。途中できびだんごをほうびに犬、さる、きじをお供にし、鬼が島にやってきたももたろうは、鬼をこらしめ悪いことはしないと約束させました。囚われていたお姫さまを取り戻したももたろうは、うちに帰り、お姫さまをお嫁にもらって幸せに暮らしました。

○もりのおふろ○

（こどものとも年少版劇場）　対象：幼児
西村　敏雄／作　福音館書店　４２ｃｍ
　森の奥で、お風呂がわいています。ライオンがやってきて、体を洗っているところにゾウがやってきました。ライオンに頼まれて、ゾウがライオンの背中を洗っていると、ワニがやってきました。ワニもゾウの背中を洗っていると、ブタの兄弟がやってきて、ワニの背中をごしごししゅっしゅっ。動物たちが次々やってきて、前の動物の背中を洗います。最後にやってきたウサギもライオンに背中を洗ってもらい、みんなで輪になり、ごしごししゅっしゅっ。お湯をざぶんとかぶって、お風呂へどぼーん。あー、いい気持ち。

○もりのかくれんぼう○

（ビッグブック）　対象：幼児～小低
末吉　暁子／作　林　明子／絵　偕成社　５１ｃｍ
　公園で遊んだ帰り道、けいこは先に走っていったお兄ちゃんを追いかけました。お兄ちゃんがくぐった生垣の根元を通り抜けると、お兄ちゃんは見当たらず、見たこともない大きな森の入り口に立っていました。誰もいない金色に色づいた森を歩いていくと、どこからか声がしました。現れたのは、もりのかくれんぼうという男の子です。けいこは、その子や森の仲間たちとかくれんぼをすることにしました。じゃんけんで鬼になったのは、けいこです。くまやきつね、りす、いたち、とかげを次々に見つけていきます。たぬきや鹿、ふくろうにもぐらと猿も見つけました。もりのかくれんぼうも、とうとう見つけました。今度の鬼は、くまです。かくれんぼうと一緒に隠れていたけいこが、ふっと我にかえると目の前にお兄ちゃんが立っていて、かくれんぼうはいませんでした。そこは、夕日に染まったけいこ達の団地でした。団地になる前は、大きな森だったそうです。けいこはまた、かくれんぼうに会えるような気がしてなりませんでした。
　森の中に隠れている生き物たちを探すのが楽しい絵本です。

○よかったねネッドくん○

（英文つき・ビッグブック）　対象：幼児～小低
レミー・シャーリップ／作　やぎた　よしこ／訳　偕成社　５１ｃｍ
　びっくりパーティーに招待されたネッドくん、友達に借りた飛行機でフロリダに向かいます。途中で飛行機が爆発したけれど、パラシュートで脱出しました。パラシュートには穴があいていて、尖った草かきの上に落ちそうになりましたが、落ちたのは水の中でした。水の中のサメたちに追いかけられましたが、泳ぎのうまいネッドくんは無事岸に。今度はトラたちに追いかけられますが、足の速いネッドくんは、洞穴に飛び込みました。トンネルを掘り進めて出たところは、大勢の人がいるおかしな部屋。そこは、びっくりパーティーの会場でした。パーティーは、ネッドくんの誕生日パーティーだったんですって。

○よくばりすぎたねこ○

（よみきかせ大型絵本）　対象：幼児～小低
さとう　わきこ／作・絵　メイト　５０ｃｍ
　ある日のこと、猫がひよこを見つけました。猫は、おびき寄せたひよこを食べようとしますが、大きくしてから食べようと思い直します。それより、卵を産ませて両方食べようか、それとも沢山卵を産ませて孵ったひよこ共々食べようか、そのひよこを大きくしてから食べた方がいいかも、いや、もっと増やしてからにしよう、と、どんどん想像をふくらませていきます。柵の中で育てたひよこはすっかり大きくなりますが、卵を産もうとしません。ある日、羽をばたばたさせて飛んでいってしまいました。ひよこはカモだったのです。

○わゴムはどのくらいのびるかしら？○

（ほるぷ出版の大きな絵本）　対象：幼児～小低
マイク・サーラー／作　ジェリー・ジョイナー／絵　ほるぷ出版
３４×４３ｃｍ
　ある日、ぼうやはわゴムがどのくらいのびるか、試してみることにした。わゴムのはしをベッドの枠に引っかけて、部屋の外へ。自転車に乗ってくたびれるまで走り、バスに乗り換え、駅に着いたら汽車に乗り込む。飛行場に着いたら、飛行機に乗って港まで行こう。そこから船に乗って海を越え、よその国に着いたらラクダを借りて砂漠を渡り、ロケット発射場に到着。さあ、ロケットに乗って月

まで行くよ。月に着いてロケットを降りて歩き出そうとしたとたん、引っ張りに引っ張られたわゴムはぼうやを引っ張り返し、ベッドに戻りましたとさ。ナンセンスで愉快な絵本です。

○わにわにのおふろ○

（こどものとも年少版劇場）　対象：幼児
小風　さち／文　山口　マオ／絵　福音館書店　４２ｃｍ
　わにわには、お風呂が大好きです。お風呂場の蛇口をひねって、お風呂にお湯をためたら、おもちゃを浮かべます。お湯に入っておもちゃで遊んだり、あぶくを飛ばしたり、歌だって歌います。最後にお湯に潜ってしっかり温まったら、お風呂からあがって、タオルで体を拭きます。お風呂上がりの飲み物は、とってもおいしいよ！

○ＢＲＯＷＮ　ＢＥＡＲ，ＢＲＯＷＮ　ＢＥＡＲ，
ＷＨＡＴ　ＤＯ　ＹＯＵ　ＳＥＥ？○

（「くまさんくまさん　なにみてるの？」）

Ｂｉｌｌ　Ｍａｒｔｔｉｎ　Ｊｒ．／文　Ｅｒｉｃ．Ｃａｒｌｅ／絵
ＬＯＮＧＭＡＮ　４６×３７ｃｍ　対象：幼児

　茶色いくまさん、何見てるの？赤い鳥を見てるの。赤い鳥さんが見てるのは、黄色いあひる。黄色いあひるさんが見てるのは、青い馬。青い馬さんが見てるのは、緑色のかえる。緑色のかえるさんが見てるのは、紫色のねこ。紫色のねこさんが見てるのは、白い犬。白い犬さんが見てるのは、黒い羊。黒い羊さんが見てるのは、金色の金魚。金色の金魚さんが見てるのは、お母さん。お母さんが見てるのは、大好きな子どもたち。子どもたちが見てるのは、今まで出てきた生き物全部と、お母さん！　英文版。

○FROM　HEAD　TO　TOEO

（「できるかな　あたまからつまさきまで」）

Ｅｒｉｃ．Ｃａｒｌｅ／作・絵　ＨＡＲＰＥＲ　ＣＯＬＬＩＮＳ
４６×３５ｃｍ　対象：幼児

　ぼくは、ペンギン。頭をくるんと回せるよ。子どももできると頭をくるるん。私は、キリン。首をぐいんと曲げられますよ。子どももできると首をぐいーん。俺は、バッファロー。肩を上げ下げできる。子どももできると肩を上げ下げ。僕は、サル。腕をゆらゆらゆすれるよ。子どももできると腕をゆらゆら。私はアザラシ。両手をぱんぱん鳴らせるよ。子どももできると手を鳴らす。俺は、ゴリラ。胸をどどんと叩けるよ。子どももできると胸をどどん。私は、ねこ。背中をぐうんと曲げられる。子どももできると背中をぐうん。俺は、ワニ。おしりをくいくいゆすれるぞ。子どももできるとおしりをくいくい。私は、ラクダ。膝をきゅっと曲げられる。子どももできると膝をきゅっきゅっきゅっ。ぼくは、ロバ。ぽーんと蹴っ飛ばせる。子どももできるとぽんぽんぽーん。わしはゾウ。足を踏み鳴らせる。子どももできると足をどっしんどっしん。私は、人間。つま先もじょもじょできるんだ。オウムもできるとモジョ・モジョ・モジョ！　英文版。

○THE CHILDREN ‘S　GIANT
WORLD　ATLASO

（「でっかいこどもせかいちず」）

Ｂｒｅｎｄｏｎ．Ｓｔｕａｒｔ／絵　　Ｌｙｅ，Ｋｅｉｔｈ／監修
ＨＡＭＬＹＮ　６１ｃｍ　対象：小低～中学

　見開きの世界地図に始まり、南北アメリカ、ヨーロッパ、アジア、アフリカと中東、オーストラリアとニュージーランドの、それぞれのイラスト地図が載っている大型絵本です。描かれた特産物や動植物を見ながら、地域の特徴を理解できます。英文版。

ＯＴＨＥ ＧＩＡＮＴ ＢＯＯＫ ＯＦ ＳＰＡＣＥＯ

（「でっかいうちゅうのほん」）

Ｉａｎ．Ｒｉｄｐａｔｈ／文
Ｏｘｆｏｒｄ Ｉｌｌｕｓｔｒａｔｏｒｓ／絵 ＨＡＭＬＹＮ ６１ｃｍ
対象：小中～中学

夜空に何が見えるか、星座のいろいろ、深宇宙とは、太陽の仕組みや太陽系のようす、月についてを、６つの章「ＴＨＥ ＮＩＧＨＴ ＳＫＹ」「ＴＨＥ ＣＯＮＳＴＥＬＬＡＴＩＯＮＳ」「ＤＥＥＰ ＳＰＡＣＥ」「ＴＨＥ ＳＵＮ」「ＴＨＥ ＳＯＬＡＲ ＳＹＳＴＥＭ」「ＴＨＥ ＭＯＯＮ」でそれぞれ説明しています。大きな分かりやすい絵で、宇宙のさまざまなことが理解できます。英文版。

ＯＴＨＥ ＬＩＴＴＬＥ ＲＥＤ ＨＥＮＯ

（「おとなしいめんどり」）

Ｐａｕｌ．Ｇａｌｄｏｎｅ／作 ＣＬＡＲＩＯＮ ＢＯＯＫＳ
３９×３７ｃｍ 対象：幼児～小低

むかしむかし、猫と犬とねずみとおとなしい赤いめんどりが、１軒の家に住んでいました。猫も犬もねずみも一日中休んでばかり。家事をするのは、めんどりだけです。ある日、小麦の種を見つけためんどりは、他の３匹に種まきを頼みますが、誰もやりません。種をまき世話をして小麦を実らせためんどりは、刈り取りを他の３匹に頼みますが、誰もやろうとしません。小麦を刈り取っためんどりは、誰か粉屋で粉にひいてもらってと頼みますが、やはりやるものはいません。粉屋から粉の袋を持って帰っためんどりは、誰かこの粉でお菓子を焼いてと頼みますが、誰もやりません。めんどりがお菓子を焼くと、他の３匹がにおいにつられてやってきました。めんどりが誰かお菓子を食べる？と聞くと、３匹は「食べる！」と叫びました。めんどりは、何もかも１人でやったのは私だから、とお菓子を全部食べてしまいました。それからというもの、めんどりは仕事があるたびに、手伝いに不自由しなくなりましたって。英文版。

○THE　THREE　BILLY　GOATS　GRUFFO

（「やぎのブッキラボー３きょうだい」）

Ｐａｕｌ．Ｇａｌｄｏｎｅ／作　ＣＬＡＲＩＯＮ　ＢＯＯＫＳ
４４×３６㎝　対象：幼児～小低

むかしむかし、３匹のやぎの兄弟がいました。名前は３匹とも「ブッキラボー」といいました。丘へ行きたっぷり食べて太ろうと思った３匹は、トロルがいる橋を渡ることにしました。最初に一番下の小さいやぎのブッキラボーが渡ります。小さいやぎを食べようとしたトロルは、後からもっと大きいやぎが来ると聞いて、小さいやぎを通しました。２番目のやぎのブッキラボーも、後からもっと大きいやぎが来ると言って、トロルに通してもらいました。３番目のやぎのブッキラボーは、とても大きなやぎです。トロルをやっつけて川に落とすと、ゆうゆうと丘を登ってきました。３匹はたっぷり食べて、歩いて家に帰ることができなくなりました。きっと、いまでも丘にいるでしょう。英文版。

○THE　VERY　HUNGRY　CATERPILLERO

（「はらぺこあおむし」）

Ｅｒｉｃ．Ｃａｒｌｅ／作・絵　ＬＯＮＧＭＡＮ　３３×４７ｃｍ
対象：幼児

お月さまが、葉っぱの上にちっちゃなたまごを見つけました。暖かい日曜日の朝、たまごからちっぽけなあおむしが生まれました。あおむしは、おなかがぺっこぺこ。月曜日、りんごを１つ見つけて食べました。火曜日にはナシを２つ、水曜日にはすももを３つ、木曜日にはいちごを４つ、そして金曜日にはオレンジを５つ食べました。土曜日に食べたのは、チョコレートケーキ、アイスクリーム、ピクルス、チーズ、サラミ、ぺろぺろキャンディー、さくらんぼパイ、ソーセージとカップケーキとすいか！ですって。その晩、あおむしはおなかが痛くて泣きました。次の日は、また日曜日。あおむしは、おいしい緑の葉っぱを食べて具合がよくなりました。今では、あおむしはすっかり太っています。まもなく、さなぎになって眠りました。やがて、さなぎから出てきたのは、とても美しいちょうちょでした。英文版。

さくいん＜画家名別＞

【あ行】

赤羽　末吉　　「ももたろう」　55
秋山　あゆ子　　「くものすおやぶんとりものちょう」　23
あきやま　ただし　　「たまごにいちゃん」　33
　　〃　　「へんしんオバケ」　52
　　〃　　「へんしんトンネル」　52
アンゲラー，トミー　　「すてきな三にんぐみ」　29
いしかわ　こうじ　　「おめんです」　18
　　〃　　「おめんです２」　18
　　〃　　「くだものいろいろかくれんぼ」　22
　　〃　　「どうぶついろいろかくれんぼ」　39
　　〃　　「のりものいろいろかくれんぼ」　45
いとう　ひろし　　「へびくんのおさんぽ」　52
いわい　としお　　「うみの１００かいだてのいえ」　13
　　〃　　「そらの１００かいだてのいえ」　31
　　〃　　「ちか１００かいだてのいえ」　36
　　〃　　「１００かいだてのいえ」　50
いわむら　かずお　　「ねずみのいもほり」　43
　　〃　　「ねずみのかいすいよく」　44
　　〃　　「ねずみのさかなつり」　44
　　〃　　「ねずみのでんしゃ」　44
上野　紀子　　「ちいちゃんのかげおくり」　36
　　〃　　「ねずみくんのチョッキ」　43
うちの　ますみ　　「もぐらバス」　54
おおむら　ゆりこ　　「ぐりとぐら」　24
（山脇　百合子）
Ｏｘｆｏｒｄ　Ｉｌｌｕｓｔｒａｔｏｒｓ　「ＴＨＥ　ＧＩＡＮＴ　ＢＯＯＫ　ＯＦ　ＳＰＡＣＥ」　60

【か行】

かがくい　ひろし　　「おしくら・まんじゅう」　15
　　〃　　「おふとんかけたら」　17

〃　「だるまさんが」　33
〃　「だるまさんと」　34
〃　「だるまさんの」　34
柿本　幸造　「どうぞのいす」　39
かこ　さとし　「からすのパンやさん」　19
〃　「だるまちゃんとかみなりちゃん」　34
〃　「だるまちゃんとてんぐちゃん」　35
カール，エリック　「月ようびはなにたべる？」　25
〃　「パパ、お月さまとって！」　47
〃　「はらぺこあおむし」　50
〃　「BROWN　BEAR，BROWN　BEAR，WHAT　DO　YOU　SEE?」　58
〃　「FROM　HEAD　TO　TOE」　59
〃　「THE　VERY　HUNGRY　CATERPILLER」　61
Galdone，Paul　「THE　LITTLE　RED　HEN」　60
〃　「THE　THREE　BILLY　GOATS　GRUFF」　61
工藤　ノリコ　「ノラネコぐんだんきしゃぽっぽ」　45
〃　「ノラネコぐんだんパンこうじょう」　45
コッター，ビル　「ぜったいにおしちゃダメ？」　30
小西　英子　「サンドイッチサンドイッチ」　26
五味　太郎　「きんぎょがにげた」　22
〃　「くじらだ！」　22
〃　「まどから★おくりもの」　53

【さ行】

さいとう　しのぶ　「あぶくたった」　11
〃　「おべんとうばこのうた」　17
佐藤　忠良　「おおきなかぶ」　13
さとう　わきこ　「せんたくかあちゃん」　30
〃　「よくばりすぎたねこ」　57
佐野　洋子　「おじさんのかさ」　15
島田　ゆか　「バムとケロのおかいもの」　48
〃　「バムとケロのさむいあさ」　48
〃　「バムとケロのそらのたび」　48

〃　「バムとケロのにちようび」　４９
〃　「バムとケロのもりのこや」　４９
シャーリップ，レミー　「よかったねネッドくん」　５７
ジョイナー，ジェリー　「わゴムはどのくらいのびるかしら？」　５７
真珠　まりこ　「おべんとうバス」　１７
白土　あつこ　「じしんだ！」　２７
鈴木　まもる　「せんろはつづく」　３０
〃　「せんろはつづくまだつづく」　３１
Ｓｔｕａｒｔ，Ｂｒｅｎｄｏｎ　「THE CHILDREN ‘S GIANT WORLD ATLAS」　５９
せな　けいこ　「おばけのてんぷら」　１６
〃　「となりのたぬき」　４０

【た行】

高畠　純　「どうぶつしんちょうそくてい」　４０
滝平　二郎　「花さき山」　４７
〃　「モチモチの木」　５５
たけべ　もといちろう　「かわいそうなぞう」　２０
田島　征三　「ちからたろう」　３７
〃　「とべバッタ」　４０
たむら　しげる　「ありとすいか」　１２
チゾンとテイラー　「おばけのバーババパパ」　１６
長　新太　「キャベツくん」　２１
〃　「ぼくのくれよん」　５３
手島　圭三郎　「おおはくちょうのそら」　１４
〃　「きたきつねのゆめ」　２０
〃　「しまふくろうのみずうみ」　２７
デュケノワ，ジャック　「おばけパーティ」　１７
とよた　かずひこ　「でんしゃにのって」　３８

【な行】

中谷　千代子　「かばくん」　１９
長野　博一　「なにをたべてきたの？」　４２
なかの　ひろたか　「ぞうくんのさんぽ」　３１
なかや　みわ　「そらまめくんのベッド」　３１

西巻　茅子　　「ちいさなきいろいかさ」　３５
西村　敏雄　　「もりのおふろ」　５６

【は行】

長谷川　義史　　「だじゃれ日本一周」　３２
はた　こうしろう　　「しりとりのだいすきなおうさま」　２８
　　〃　　「なつのいちにち」　４１
ハード，クレメント　　「ぼくにげちゃうよ」　５３
バーニンガム，ジョン　　「ガンピーさんのふなあそび」　２０
林　明子　　「はじめてのおつかい」　４６
　　〃　　「はっぱのおうち」　４７
　　〃　　「もりのかくれんぼう」　５６
ハンドフォード，マーティン　　「新ウォーリーをさがせ！」　２８
　　〃　　「新ウォーリーハリウッドへいく」　２９
フィスター，マーカス　　「にじいろのさかな」　４２
藤本　ともひこ　　「いただきバス」　１２
　　〃　　「いもほりバス」　１２
　　〃　　「たなばたバス」　３２
ブラウン，マーシャ　　「三びきのやぎのがらがらどん」　２７
フリーマン，ドン　　「くまのコールテンくん」　２３
降矢　なな　　「きょだいなきょだいな」　２１
　　〃　　「ともだちや」　４１
　　〃　　「めっきらもっきらどおんどん」　５４
堀内　誠一　　「ぐるんぱのようちえん」　２５
　　〃　　「こすずめのぼうけん」　２５
ボーンスタイン，ルース　　「ちびゴリラのちびちび」　３７

【ま行】

間瀬　なおかた　　「あめのひのえんそく」　１１
　　〃　　「でんしゃでいこうでんしゃでかえろう」　３８
　　〃　　「ドライブにいこう」　４１
　　〃　　「バスでおでかけ」　４６
まつおか　たつひで　　「ぴょーん」　５１
南塚　直子　　「うさぎのくれたバレエシューズ」　１３
皆越　ようせい　　「ダンゴムシみつけたよ」　３５

みやにし　たつや　　「おっぱい」　１５
　　〃　　「おとうさん・パパ・おとうちゃん」　１６
　　〃　　「おまえうまそうだな」　１８
　　〃　　「にゃーご」　４２
　　〃　　「ふしぎなカサやさん」　５１
　　〃　　「ふしぎなタネやさん」　５１
村上　勉　　「おおきなきがほしい」　１４
村松　カツ　　「あかまるちゃんとくろまるちゃん」　１１
元永　定正　　「ころころころ」　２６
　　〃　　「もこもこもこ」　５５

【や・ら・わ行】

やぎゅう　げんいちろう　　「たまごのあかちゃん」　３３
安井　淡　　「ちいさなくれよん」　３６
山口　マオ　　「わにわにのおふろ」　５８
山田　三郎　　「三びきのこぶた」　２６
山村　浩二　　「おやおや、おやさい」　１９
山本　忠敬　　「しゅっぱつしんこう！」　２８
山本　まつ子　　「はじめてのおるすばん」　４６
山脇　百合子　　「ぐりとぐら」　２４
　　〃　　「ぐりとぐらのえんそく」　２４
　　〃　　「ぐりとぐらのおきゃくさま」　２４
ユンゲ，ノルマン　　「ドアがあいて・・・」　３９
よしなが　こうたく　　「給食番長」　２１
レオニ，レオ　　「スイミー」　２９
　　〃　　「フレデリック」　５１
和歌山　静子　　「にんじんとごぼうとだいこん」　４３

さくいん＜作者名別＞

【あ行】

秋山　あゆ子　　「くものすおやぶんとりものちょう」　２３
あきやま　ただし　　「たまごにいちゃん」　３３
　　〃　　「へんしんオバケ」　５２
　　〃　　「へんしんトンネル」　５２
あまん　きみこ　　「ちいちゃんのかげおくり」　３６
安房　直子　　「うさぎのくれたバレエシューズ」　１３
アンゲラー，トミー　　「すてきな三にんぐみ」　２９
いしかわ　こうじ　　「おめんです」　１８
　　〃　　「おめんです２」　１８
　　〃　　「くだものいろいろかくれんぼ」　２２
　　〃　　「どうぶついろいろかくれんぼ」　３９
　　〃　　「のりものいろいろかくれんぼ」　４５
石津　ちひろ　　「おやおや、おやさい」　１９
いとう　ひろし　　「へびくんのおさんぽ」　５２
いまえ　よしとも　　「ちからたろう」　３７
いわい　としお　　「うみの１００かいだてのいえ」　１３
　　〃　　「そらの１００かいだてのいえ」　３１
　　〃　　「ちか１００かいだてのいえ」　３６
　　〃　　「１００かいだてのいえ」　５０
内田　麟太郎　　「ともだちや」　４１
うちの　ますみ　　「もぐらバス」　５４
エインズワース，ルース　　「こすずめのぼうけん」　２５
上野　与志　　「あかまるちゃんとくろまるちゃん」　１１

【か行】

かがくい　ひろし　　「おしくら・まんじゅう」　１５
　　〃　　「おふとんかけたら」　１７
　　〃　　「だるまさんが」　３３
　　〃　　「だるまさんと」　３４
　　〃　　「だるまさんの」　３４
かこ　さとし　　「からすのパンやさん」　１９
　　〃　　「だるまちゃんとかみなりちゃん」　３４

〃　「だるまちゃんとてんぐちゃん」　35
カール，エリック　「月ようびはなにたべる？」　25
〃　「パパ、お月さまとって！」　47
〃　「はらぺこあおむし」　50
〃　「FROM HEAD TO TOE」　59
〃　「THE VERY HUNGRY CATERPILLER」　61
Galdone，Paul　「THE LITTLE RED HEN」　60
〃　「THE THREE BILLY GOATS GRUFF」　61
かんざわ　としこ　「たまごのあかちゃん」　33
聞かせ屋。けいたろう　「どうぶつしんちょうそくてい」　40
岸田　衿子　「かばくん」　19
〃　「なにをたべてきたの？」　42
工藤　ノリコ　「ノラネコぐんだんきしゃぽっぽ」　45
〃　「ノラネコぐんだんパンこうじょう」　45
香山　美子　「どうぞのいす」　39
小風　さち　「わにわにのおふろ」　58
コッター，ビル　「ぜったいにおしちゃダメ？」　30
小西　英子　「サンドイッチサンドイッチ」　26
五味　太郎　「きんぎょがにげた」　22
〃　「くじらだ！」　22
〃　「まどから★おくりもの」　53

【さ行】

斎藤　隆介　「花さき山」　47
〃　「モチモチの木」　55
さとう　わきこ　「せんたくかあちゃん」　30
〃　「よくばりすぎたねこ」　57
佐藤　さとる　「おおきなかぶがほしい」　14
佐野　洋子　「おじさんのかさ」　15
サーラー，マイク　「わゴムはどのくらいのびるかしら？」　57
篠塚　かをり　「ちいさなくれよん」　36
島田　ゆか　「バムとケロのおかいもの」　48
〃　「バムとケロのさむいあさ」　48
〃　「バムとケロのそらのたび」　48

〃　「バムとケロのにちようび」　４９
〃　「バムとケロのもりのこや」　４９
しみず　みちを　「はじめてのおるすばん」　４６
シャーリップ，レミー　「よかったねネッドくん」　５７
真珠　まりこ　「おべんとうバス」　１７
末吉　暁子　「もりのかくれんぼう」　５６
せな　けいこ　「おばけのてんぷら」　１６
〃　「となりのたぬき」　４０
征矢　清　「はっぱのおうち」　４７

【た行】

竹下　文子　「せんろはつづく」　３０
〃　「せんろはつづくまだつづく」　３１
田島　征三　「とべバッタ」　４０
谷川　俊太郎　「もこもこもこ」　５５
たむら　しげる　「ありとすいか」　１２
チゾンとテイラー　「おばけのバーバパパ」　１６
長　新太　「キャベツくん」　２１
〃　「ぼくのくれよん」　５３
つちや　ゆきお　「かわいそうなぞう」　２０
筒井　頼子　「はじめてのおつかい」　４６
手島　圭三郎　「おおはくちょうのそら」　１４
〃　「きたきつねのゆめ」　２０
〃　「しまふくろうのみずうみ」　２７
デュケノワ，ジャック　「おばけパーティ」　１７
とよた　かずひこ　「でんしゃにのって」　３８
トルストイ，Ａ　「おおきなかぶ」　１３

【な行】

なかえ　よしを　「ねずみくんのチョッキ」　４３
中川　李枝子　「ぐりとぐら」　２４
〃　「ぐりとぐらのえんそく」　２４
〃　「ぐりとぐらのおきゃくさま」　２４
なかの　ひろたか　「ぞうくんのさんぽ」　３１
中村　翔子　「しりとりのだいすきなおうさま」　２８

なかや　みわ　　「そらまめくんのベッド」　３１
西内　みなみ　　「ぐるんぱのようちえん」　２５
西村　敏雄　　「もりのおふろ」　５６

【は行】

長谷川　摂子　　「きょだいなきょだいな」　２１
　　〃　　「めっきらもっきらどおんどん」　５４
長谷川　義史　　「だじゃれ日本一周」　３２
はた　こうしろう　　「なつのいちにち」　４１
バーニンガム，ジョン　　「ガンピーさんのふなあそび」　２０
ハンドフォード，マーティン　　「新ウォーリーをさがせ！」　２８
　　〃　　「新ウォーリーハリウッドへいく」　２９
フィスター，マーカス　　「にじいろのさかな」　４２
藤本　ともひこ　　「いただきバス」　１２
　　〃　　「いもほりバス」　１２
　　〃　　「たなばたバス」　３２
ブラウン，マーガレット・W　　「ぼくにげちゃうよ」　５３
フリーマン，ドン　　「くまのコールテンくん」　２３
ボーンスタイン，ルース　　「ちびゴリラのちびちび」　３７

【ま行】

間瀬　なおかた　　「あめのひのえんそく」　１１
　　〃　　「でんしゃでいこうでんしゃでかえろう」　３８
　　〃　　「ドライブにいこう」　４１
　　〃　　「バスでおでかけ」　４６
松居　直　　「ももたろう」　５５
まつおか　たつひで　　「ぴょーん」　５１
Ｍａｒｔｔｉｎ　Ｊｒ，Ｂｉｌｌ　　「BROWN　BEAR，BROWN
（マーティン　Ｊｒ，ビル）　BEAR，WHAT DO YOU SEE?」５８
皆越　ようせい　　「ダンゴムシみつけたよ」　３５
みやにし　たつや　　「おっぱい」　１５
　　〃　　「おとうさん・パパ・おとうちゃん」　１６
　　〃　　「おまえうまそうだな」　１８
　　〃　　「にゃーご」　４２

〃　　「ふしぎなカサやさん」　51
〃　　「ふしぎなタネやさん」　51
元永　定正　　「ころころころ」　26
もり　ひさし　　「ちいさなきいろいかさ」　35

【や・ら・わ行】

山下　明生　　「ねずみのいもほり」　43
〃　　「ねずみのかいすいよく」　44
〃　　「ねずみのさかなつり」　44
〃　　「ねずみのでんしゃ」　44
山本　忠敬　　「しゅっぱつしんこう！」　28
ヤンドゥル，エルンスト　　「ドアがあいて・・・」　39
よしなが　こうたく　　「給食番長」　21
レオニ，レオ　　「スイミー」　29
〃　　「フレデリック」　51
Ｒｉｄｐａｔｈ，Ｉａｎ　　「ＴＨＥ　ＧＩＡＮＴ　ＢＯＯＫ　ＯＦ　ＳＰＡＣＥ」　60

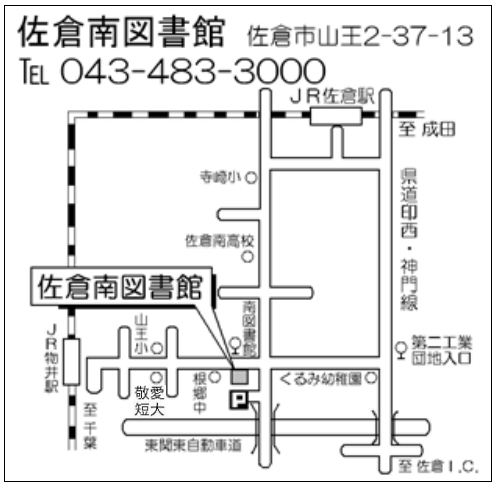
大型絵本ブックガイド

―佐倉市立佐倉南図書館所蔵―

２０１５年　　７月発行
２０２０年６月９訂版発行

＊こちらのブックガイドは、佐倉市立図書館の
ホームページでもご覧になれます

佐倉市立佐倉南図書館

ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｌｉｂｒａｒｙ．ｓａｋｕｒａ．ｃｈｉｂａ．ｊｐ／

開館時間：午前9時～午後8時
休館日：月曜日（祝日の場合は翌日以降の平日）、
第1火曜日（祝日の場合は翌日以降の平日）、
年末年始、特別整理期間